



# SANDEN

Delivering Excellence

# 取扱説明書

## サンデンレギュラーコーヒーマシン

### 形式 RCM2-PF2HWDN-SD

- ・このたびは、サンデンレギュラーコーヒーマシンをお買い上げいただきありがとうございます。
- ・ご使用前に必ずこの〔取扱説明書〕をお読みのうえ、正しくお使いください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。



## 目次

安全上のご注意	1
1. 各部の名称	
1-1 外部名称	7
1-2 内部名称	7
1-3 メニュー表示部の名称	8
1-4 選択ボタンと 豆ホッパーの対応	8
2. 外形寸法	9
3. 据え付けのご注意	
3-1 据え付け場所	10
3-2 製品の据え付け	10
4. 販売準備	
4-1 電源の投入	12
4-2 初期洗浄	12
4-3 年月日時分の確認	12
4-4 原料の充填	12
4-5 メニューラベルの取り付け	13
4-6 ペーパーフィルターのセット	13
4-7 使用カップの検知確認	14
4-8 テスト搬出	14
5. コントローラー キーボード	
5-1 コントローラーの外観	15
5-2 キーボード操作キー機能一覧	15
5-3 項目別機能一覧表	16
6. 定期的清掃・お手入れ	
6-1 清掃区分	20
6-2 清掃周期と清掃箇所	21
6-3 提供を長期間停止する場合	24
6-4 消耗部品	25
7. 故障診断	
7-1 警告表示モニターによる 故障診断	27
7-2 キーボードによる故障診断	28
7-3 よくあるトラブルQ&A	37
8. 仕様	39



古紙パルプ配合率50%再生紙を使用

## サンデン・リテールシステム株式会社

37754-80460 SST-SR30B AV-012



# 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、据え付け工事をする方、お使いになる方、他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

据え付け工事の完了後は、試運転を行い異常がないことを確認してください。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## 【表示の説明】




 <b>警告</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されることを示します。
 <b>注意</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されることを示します。

\*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

\*2：傷害とは、治療のための入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

\*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

## 【図記号の説明】 ■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけないこと「禁止」を示します。
	必ず実行していただく「強制」を示します。
	気をつけていただきたい「注意喚起」を示します。

## 【本体ラベルの確認】

本体に警告・注意ラベルを貼り付けてありますので、ご確認ください。

もし、ラベルが紛失していたり汚損により見にくいときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。







## 免責事項

- 地震・雷および当社の責任以外での火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、改造、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断による損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

# 安全上のご注意








## 1. 据え付け（設置）の前に

### 警告

 <p>据え付けは、専門の設置業者または、お買上げ先へ依頼する 不完全な設置は、転倒事故・感電・火災などの恐れがあります。</p>	 <p>据え付けは消防法・食品衛生法・電気事業法などを遵守する 違法な設置は、事故発生の恐れがあります。</p>
 <p>再設置については専門の設置業者または、お買上げ先へ依頼する 不完全な移動再設置は、転倒事故・感電・火災などの恐れがあります。</p>	 <p>電気事業法で漏電遮断器の取付けが義務付けられている場所へ据え付ける場合は、漏電遮断器を取付ける 違法な据え付けは、事故発生の恐れがあります。</p>
 <p>定格電圧 100Vの製品は、必ず単相100Vで電流容量15A以上のコンセントを単独で使用する 延長コードの使用や分岐コンセントは、火災の恐れがあります。</p>	 <p>アースは、ガス管や水道管、電話のアース線、避雷針などに接続しない 感電や火災の恐れがあります。</p>

## 2. 据え付け場所について









### 警告

 <p>屋内に据え付ける 違法な設置は、事故発生の恐れがあります。</p>	 <p>床が丈夫で水平な所に据え付ける 傾いたり不安定なときは、販売に支障をきたすだけでなく騒音や転倒する恐れがあります。</p>
 <p>局所的な台(コンクリートブロック)の上に据え付けない 台がはずれ転倒する恐れがあります。</p>	 <p>ホコリの多い所や腐食性ガスの当たる所は避ける 本機が腐食したり、異常動作や漏電の恐れがあります。</p>
 <p>直接、雨・潮風の当たる場所には据え付けない 錆・漏電・感電の恐れがあります。</p>	 <p>湿気の多い所や、水のかかり易い場所には据え付けない 絶縁低下による漏電・感電等の恐れがあります。</p>
 <p>火気のそばや油煙、湯気が当たる場所には据え付けない 感電や火災の恐れがあります。</p>	


# 安全上のご注意

## 3. 据え付け時の荷扱い上のご注意

### 警告





 <p>安全のため、保護具（安全靴・すべり止め付手袋など）を着用する 保護具を着用しないと、けがをする恐れがあります。</p>	 <p>本機の上に乗らない 滑って落下したり、本機が転倒する恐れがあります。</p>
 <p>荷扱いの前に必ず梱包枠の割れ・腐れを確認する 梱包材が破損していると、けがをする恐れがあります。</p>	 <p>本機をリフトで運搬するときは、ベルトで固定する ベルトで固定しないと本機が落下する恐れがあります。</p>
 <p>包装バンドを持って荷扱いしない バンドが切れけがをする恐れがあります。</p>	 <p>設置場所の周囲には、人や車が近づかないよう処置をする 処置をしないと作業員や他の人がけがをする恐れがあります。</p>
 <p>クレーンで上げ下ろしするときは、絶対に梱包枠を吊り上げない 梱包枠が破損し本機が落下して危険です。</p>	 <p>本機に原料・水等を充填した状態での移設、移動は行わない 振動や衝撃により、部品の破損、変形や水漏れ、食中毒の原因になる恐れがあります。</p>

### 注意

 <p>本機を移動する場合は、傾けたり横積みしない 製品の破損や故障の恐れがあります。</p>	
---	--

## 4. 開梱時の安全上のご注意

### 警告

 <p>クレーンで荷降ろしするときは、梱包枠から本機をはずし、本機だけを吊り上げて降ろす 下部の梱包枠などに乗せたまま吊り上げると梱包材が破損し落下する恐れがあります。</p>	 <p>梱包枠をはずすときは、天井面・底面の順にはずす 他の順序ではずすと、梱包枠が落ちけがをする恐れがあります。</p>
 <p>梱包用バンドを切るときは、片手でバンドを持ち、持ったバンドの下側を切る 上側を切ると、切れたバンドが体に当たり、けがをする恐れがあります。</p>	 <p>梱包枠や梱包用ポリ袋は設置後、持ち帰る 設置場所に放置すると梱包枠でけがをしたり、幼児などが袋で遊び窒息する恐れがあります。</p>

# 安全上のご注意

## 5. 使用上のご注意

### 警告

 <p><b>アースを必ず接続する</b> アースはガス管や水道管、電話回線のアース、避雷針などに接続しないでください。アースが不完全な場合は、故障や漏電の時に感電の恐れがあります。</p>	 <p><b>地震などによる本機の転倒防止の処置をする</b> 振動により本機が転倒し、けがの恐れがあります。</p>
 <p><b>ドアにぶら下がったり、乗ったり、ドアを支えにして立ち上がったりしない</b> 機体が倒れたり、手をはさんだりして、けがをすることがあります。</p>	 <p><b>引火しやすいエーテル・ベンジン・アルコール・薬品・LPガス(ライター用ボンベ)などは入れない</b> 爆発する危険があります。</p>
 <p><b>機体の上に物を置かない</b> ドアの開閉で落下して、けがをすることがあります。</p>	 <p><b>差込プラグの刃および刃の取付け面にほこりが付着している場合は、差込プラグを抜き乾拭きする</b> 火災の恐れがあります。</p>
 <p><b>電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない</b> 電源コードが破損し、火災・感電の恐れがあります。</p>	 <p><b>電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差込がゆるいときは、使用しない</b> 感電やショートして発火することがあります。</p>
 <p><b>水につけたり、水をかけたりしない</b> ショート、漏電の恐れがあります。</p>	 <p><b>漏電遮断器はぬれた手で操作しない</b> ぬれた手で操作すると、感電する恐れがあります。</p>
 <p><b>オプション部品の取り付けや製品内部の清掃の際は、必ず電源を切る</b> 感電やけがをすることがあります。</p>	 <p><b>長時間ご使用にならないときは、必ず差込プラグをコンセントから抜く</b> プラグを抜かないと、万一故障したときに漏電・火災の恐れがあります。</p>
 <p><b>本機の異常時や故障のときは、差込プラグを抜き運転を中止する</b> 異常のまま運転を続けると、感電・火災の恐れがあります。</p>	 <p><b>本機を捨てるときは専用の破棄業者へ依頼する</b> 不適切な廃棄は、法律違反や環境破壊の恐れがあります。</p>
 <p><b>本機を分解しない</b> 感電やけがの恐れがあります。</p>	 <p><b>原料が触れる部分は、食品衛生法に従った日常の衛生管理をする</b> 食中毒等の事故の発生の恐れがあります。</p>

## ⚠ 注意



製品の可動部（原料搬出モータ・  
フルワーチャンバー）に触れない  
けがの恐れがあります。



使用中や使用後しばらくは高温部に  
手を触れない  
やけど・けがの恐れがあります。



部品をはずして洗浄した後などにテスト  
販売するときは、排水トレイ、コー  
ヒーバフファ、ノズル、ドレンとい、  
ホースがきちんと差し込まれているか  
確認する  
熱湯が出てやけどの恐れがあります。



しゃがんで作業した後に立ち上がる  
ときは、頭上に注意する  
扉の角部などでけがをすることがあります。



リンスの際は、ノズルの下に手を入れ  
ない  
フルワーリンスや薬剤リンス時には熱湯が出て  
やけどの恐れがあります。

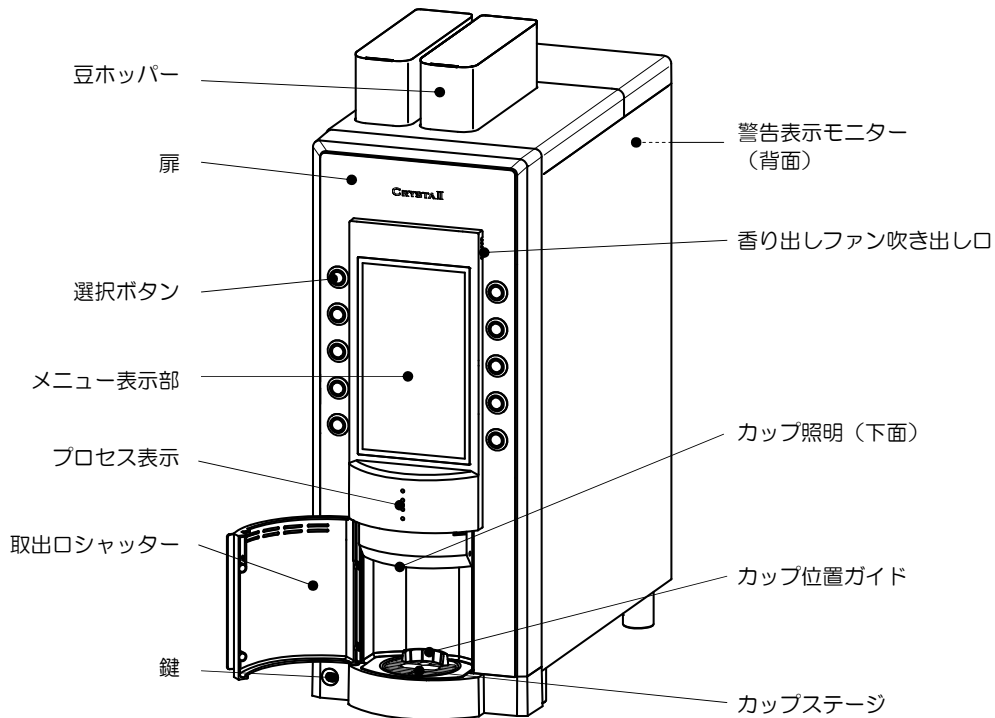


扉を開けてのリンス動作中は製品か  
ら離れない  
第三者がノズルの下に手を入れ、熱湯でやけど  
をする恐れがあります。

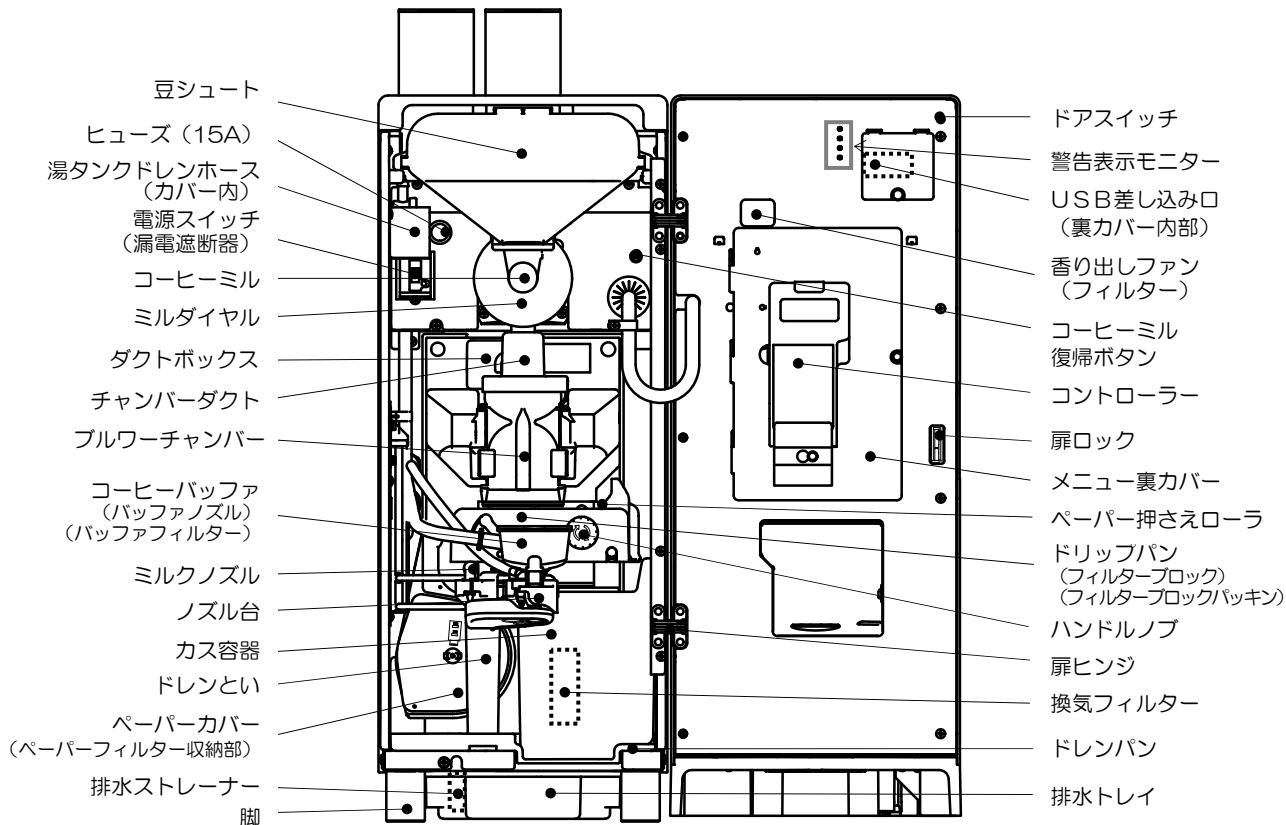
MEMO

# 1. 各部の名称

## 1. 1 外部名称



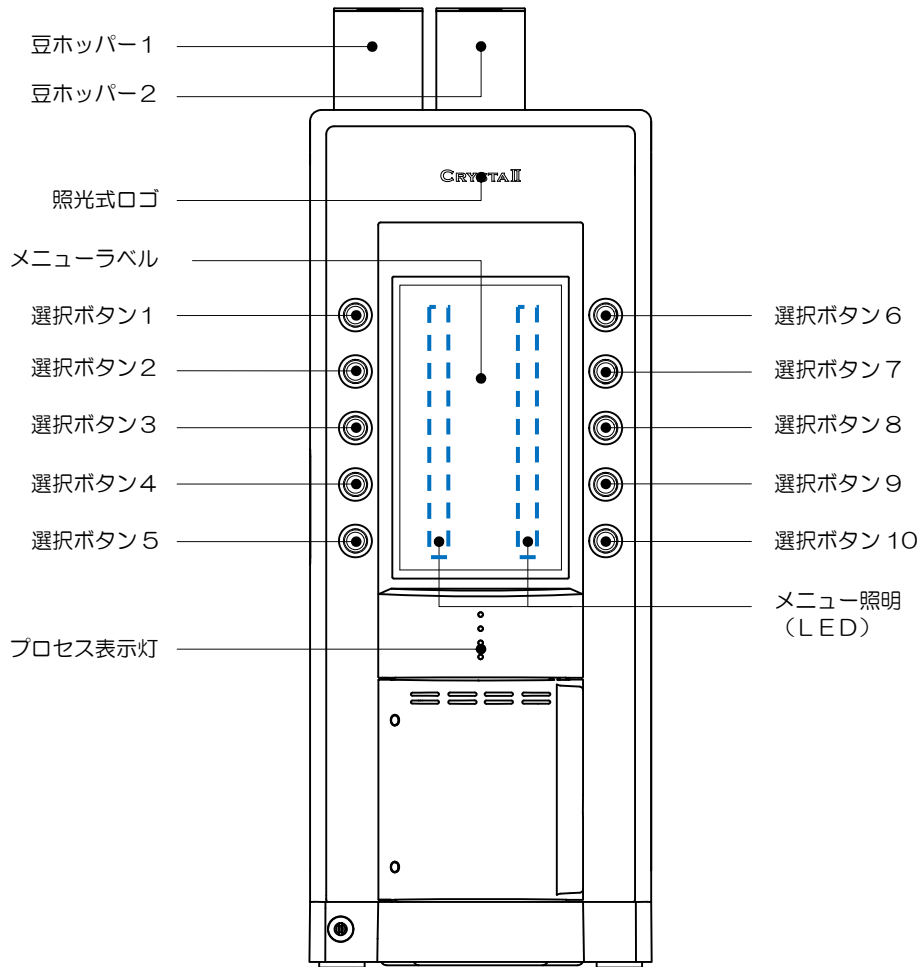
## 1. 2 内部名称





# 1. 各部の名称

## 1.3 メニュー表示部の名称

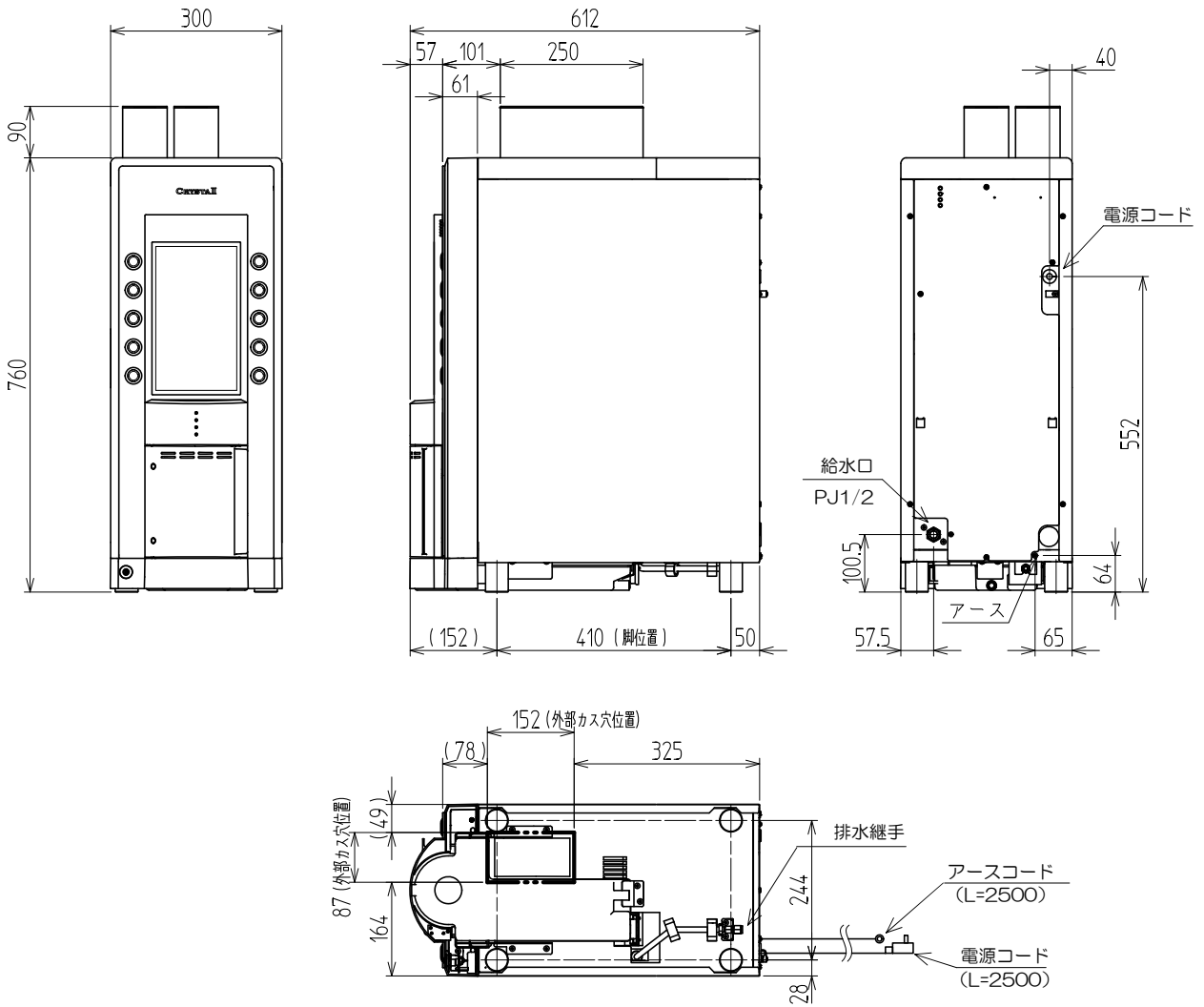


## 1.4 選択ボタンと豆ホッパーの対応

選択ボタンと豆ホッパーを割り付けた記録用メモとしてお使いください。

選択ボタン 番号	飲料名	豆ホッパー 番号	選択ボタン 番号	飲料名	豆ホッパー 番号
1			6		
2			7		
3			8		
4			9		
5			10		

## 2. 外形寸法

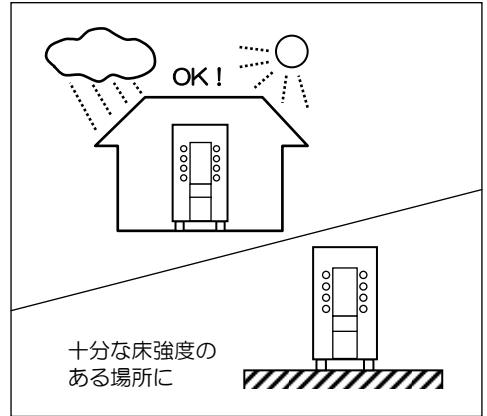


※高さ方向寸法は、脚のレベリング調整高さ最小時寸法

# 3. 据え付け上のご注意

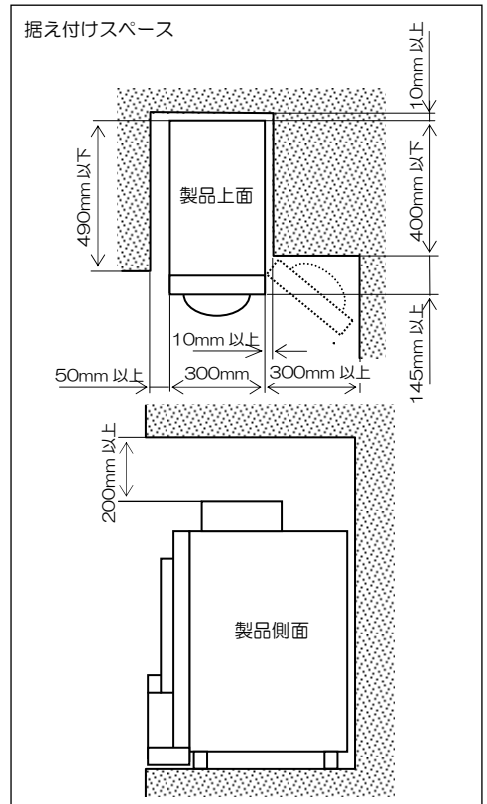
## 3. 1 据え付け場所

- (1) 本製品は、屋内専用機です。  
屋外への据え付けはしないでください。  
・必ず屋内に据え付けてください。
- (2) 製品の質量に対し十分な床面強度を有する場所に据え付けてください。  
・本製品の質量は商品満載時で 約47.5kgです。
- (3) 通路や防災機器（消火栓等）を使用するのに邪魔になる場所には据え付けしないでください。
- (4) 水がかかる場所は避けてください。
- (5) 直射日光が当たる場所や、周囲温度が35℃以上になったり、5℃以下になったりするところは避けてください。  
工場出荷時に飲料通路を洗浄してありますが、製品在庫時や開梱後の保管状態によっては塵埃が付着・侵入している事がありますので、使い始めに洗浄してください。



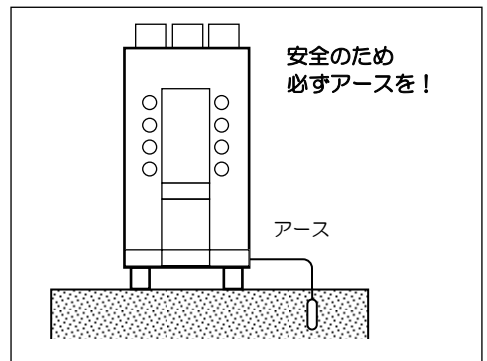
## 3. 2 製品の据え付け

- (1) 据え付けスペース  
製品の据え付け場所は扉開閉および通気のため、周囲にできるだけ広いスペースを確保してください。
- (2) 輸送用部品の取り外し  
輸送時に豆ホッパー、カス容器等がずれたり外れたりしないように輸送用テープで固定されています。  
テープを全て外して下さい。
- (3) アース
  - ① 安全のため必ず接地してください。  
アース線は製品背面に付属されています。
  - ② 特に床面の水気が多い所（プール、浴場など）では第三種設置工事をしてください。
  - ③ アース線はガス管や水道管、避雷針、電話回線アース等に接続しないでください。
- (4) 電源
  - ① 電源は必ず専用のコンセント（単相 100V±10V、電流 15A 以上）からとってください。
  - ② タコ足配線は絶対にしないでください。発熱、火災の原因となります。



### ⚠️ ご注意

電源供給線のラインインピーダンスが高いと、負荷動作時の電流により電圧降下し、供給電圧が低くなる事があります。



# 3. 据え付け上のご注意

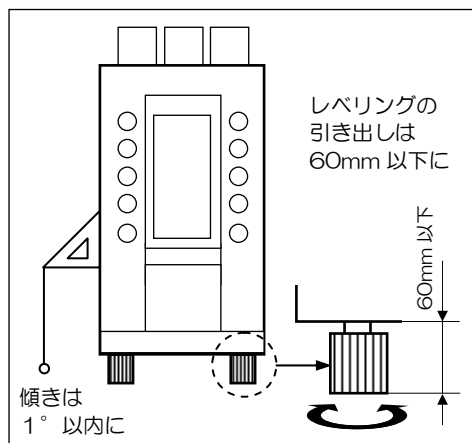
## 3. 2 製品の据え付け

### (5) 脚のレベリング調整

製品の傾きが前後左右とも1°以内になる様に脚のレベリングスクリューを回して調整してください。

#### ⚠️ ご注意

脚のレベリングスクリューは安全強度を保つため右図の寸法以上引き出さないでください。



### (6) 給水配管の接続

製品の背面に給水配管を接続する必要があります。製品背面の給水口に給水配管（接続口径PJ1/2）を接続します。口径G1/2接続の場合は適合する平パッキンを使用し、その他の接続方法による場合はシールテープ等を用い、適切な漏水処理を行ってください。

#### ⚠️ ご注意

必ず専用の止水栓を製品の近くにに取り付けてください。保守・点検のときや水漏れのときに必要です。

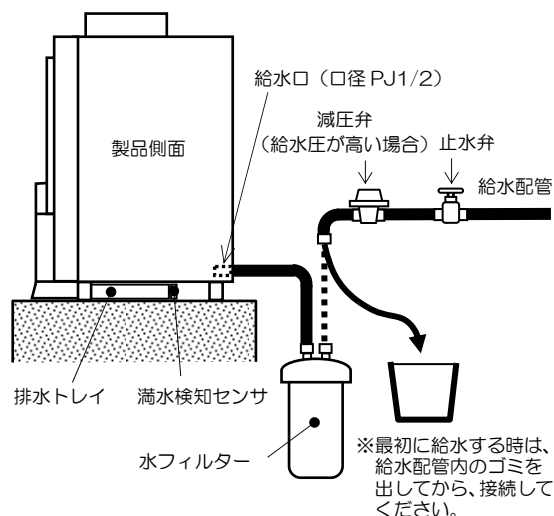
#### ⚠️ ご注意

配管を引き回す際は、製品底面の排水トレイや満水検知センサーに触れないようにしてください。センサーが正しく検知しない恐れがあります。

#### ⚠️ ご注意

- 水道配管工事は水道局の指定工事店に依頼して行ってください。
- 給水する水は水道法による公営水道を使用してください。それ以外の水を使用する場合は、水道法に定める水質基準以上の水を使用してください。
- 給水圧は0.05~0.75MPaの間でお使いください。給水圧が高すぎると給水電磁弁等の故障の原因となりますので、水路に減圧弁を取り付けて水圧を0.1~0.2MPaの間に調節してください。
- スケール付着による故障を低減するため、給水配管と製品の間に水フィルター（浄・軟水化フィルター）を入れてください。

### 配管接続例

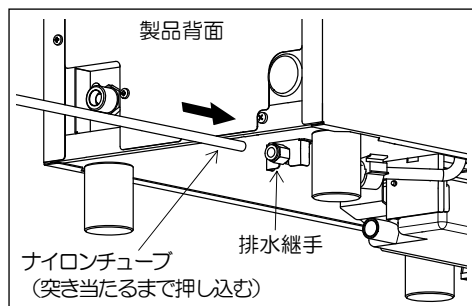


### (7) 排水配管の接続

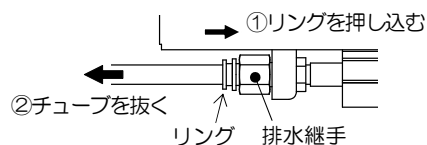
製品背面の下部にある排水継手に、排水用のナイロンチューブ（外径φ8、内径φ6）を接続します。接続は、チューブを真っ直ぐ継手に差し込み、突き当たるまで押し込みます。13mm以上挿入してください。

#### ⚠️ ご注意

- チューブを曲げる場合は、折れ・つぶれ等が発生しますので、曲げ半径R80以上で使用してください。
- チューブを曲げ半径R80未満で引き回す場合は、指定のエルボ継手を使用してください。



ナイロンチューブの抜き方  
排水継手のリングを押し込んだ状態で、ナイロンチューブを引き抜いてください。

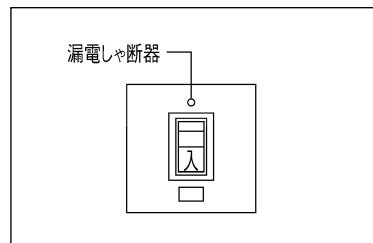


## 4. 販売準備

### 4. 1 電源の投入



漏電遮断器は、濡れた手で触ったり操作しない  
感電の恐れがあります。



- ・電源スイッチ（漏電遮断器）を「入」にします。  
給水を開始し、湯タンクが満水になると給水を停止します。

※湯タンクの水位が規定水位以上となるとヒーターが入り加温を開始します。

※内部キーボードの【メンテナンス】「05」食衛売り切れ機能」が工場出荷時は【ムコウ】に設定されていますので、自動的にヒーター加温を開始しますが、【コウコウ】に設定されている場合は加温を開始しません。

この場合はカバーキーボード【点検】「03」食衛リセット」で食衛リセット操作をしてください。

### 4. 2 初期洗浄

工場出荷時に飲料通路を洗浄してありますが、製品在庫時や開梱後の保管状態によっては塵埃が付着・侵入している事がありますので、使い始めに洗浄してください。

- ① 電源投入後、湯が沸き上がったら一度湯タンクの湯を抜いてください。  
湯タンクの水抜きは、電源スイッチを「切」にし、本体内左側の湯タンクドレンホースを使用して湯を排水してください。湯タンクドレンホースは、カバーを外し取り出して使用してください。
- ② 再び電源スイッチを「入」にし、給水後、湯が沸き上がったらかバーキーボードの【洗浄】キーで【1.フルワー】洗浄を実施してください。

### 4. 3 年月日時分の確認

キーボードのモニター画面を確認し、時刻等にずれがあった場合は修正してください。

修正する場合は、内部キーボード【タイマー】キーにより行います。

### 4. 4 原料の充填

- ・コーヒー豆をホッパーに充填します。
- ・原料切れアラーム設定をお使いの際は、原料を満杯に充填した後カバーキーボードの【原料切れアラーム/リセット】の該当番号【1】～【5】キー→【動作】キーを押して原料切れアラームをリセットしてください。
- ・豆ホッパー1が【原料切れアラーム/リセット】番号の【1】
- ・豆ホッパー2が【原料切れアラーム/リセット】番号の【2】
- ・豆ホッパー3が【原料切れアラーム/リセット】番号の【3】に相当します。

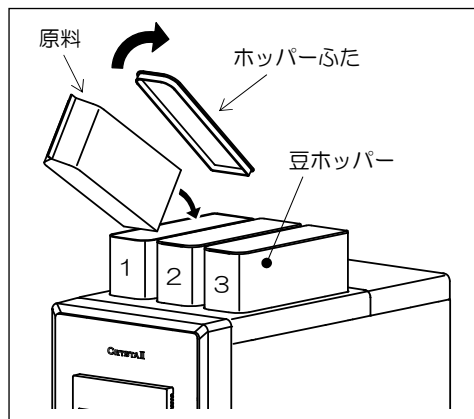
※豆ホッパー3はオプションです。

#### ⚠ ご注意

原料切れアラーム機能を使用するには、内部キーボードの【メンテナンス】「04」原料切れアラーム」の設定値を満杯量に変更してください。出荷設定値は【0】で無効設定となっています。

#### ⚠ ご注意

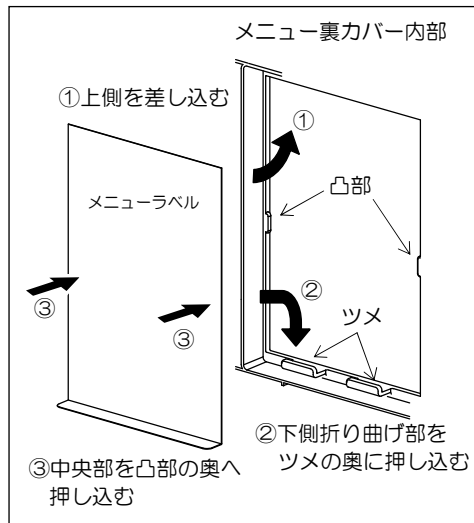
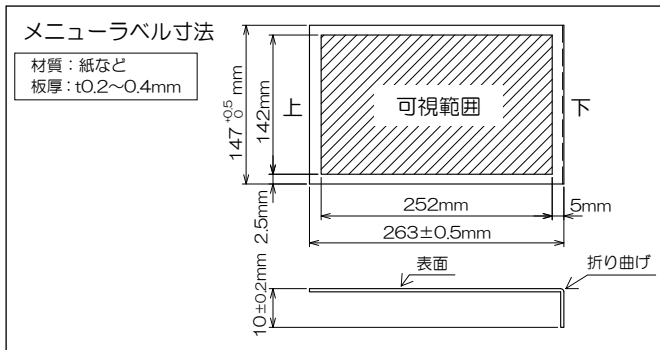
アイスコーヒー用の深煎り豆は油脂分が多く、豆シュートの斜面に微粉が堆積し豆が落下し難くなるため、豆ホッパー-2（マメ2）の位置でお使いください。



## 4. 販売準備

### 4. 5 メニューラベルの取り付け

- ・メニューラベルを次のいずれかの方法で作製してください。
  - ①下図の寸法のラベルの表側にメニューを印刷して作製する。
  - ②142mm×263mm の紙またはフィルムにメニューを印刷し、付属の透明ラベルに貼り付けて作製する。
- ・メニューラベルは、扉の裏側のメニュー裏カバーを開いて取り付けてください。



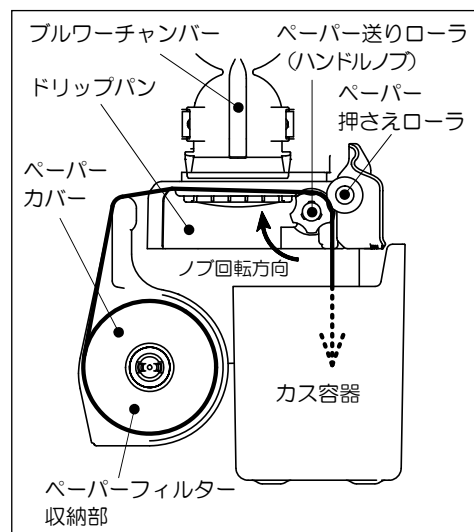
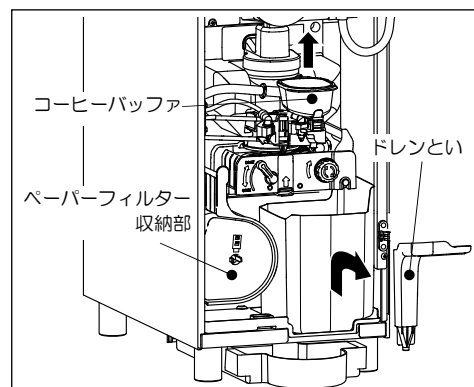
### 4. 6 ペーパーフィルターのセット

- ① コーヒーバッファを上方にスライドして固定します。
- ② ドレンといを上引き抜いて外します。
- ③ ペーパーフィルター収納部のペーパーカバー(透明樹脂板)を外し、ペーパーフィルターを右下図に示す向きに挿入します。
- ④ ペーパーをブルワーチャンバーとドリップパンの間を通し、先端をペーパー送りローラとペーパー押さえローラに挟み込みます。ハンドルノブを右に回して、ペーパーを送り、先端をカス容器内に入れてください。
- ⑤ ペーパーフィルターをセットする時に上下の隙間が狭くてやりにくい場合は、カバーキーボードの【ペーパー切/セット】→【動作】キーを押し、ドリップパンの位置を下げて作業することができます。キーボードモニターの案内に従って操作してください。

#### ⚠️ ご注意

ペーパーセットの作業中はコントローラーの操作はしないでください。ドリップパンが急に動き出し手を挟まれる恐れがあります。

※ペーパーフィルター1本で約1100杯のコーヒー抽出ができます。ペーパー切れ5杯前になると警告表示灯のペーパー切れランプおよびプロセス表示の最下段ランプが点滅するので、交換用ペーパーフィルターの準備をしてください。販売ロスをおこさないため、ペーパー切れランプが点滅したら、早めにペーパー交換を行ってください。  
【指定ペーパーフィルター：RCM-PEPA90】



## 4. 販売準備

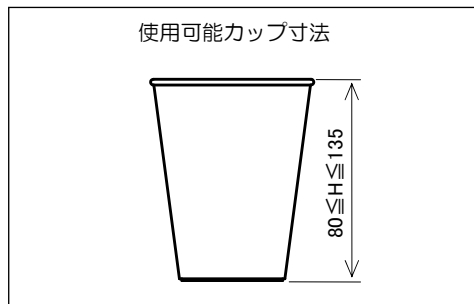
### 4.7 使用カップの検知確認

本製品はカップステージに置かれたカップを検知して、カップが置かれたときのみ搬出受付可能とする機能を搭載しています。

以下の操作をして、あらかじめ使用するカップをカップセンサーが検知できるか確認してください。

右記寸法以外のカップおよび右記寸法のカップでも以下の操作で検知できないカップを使用する場合は、カップ検知機能は [OFF] で運用してください。

※カップ検知機能を [OFF] にする場合は、内部キーボードの【設定】「11) 切り替え設定」の「カップ検知運用」を [OFF] に設定してください。  
詳細は「技術資料」をご覧くださいか、サービスマンへお問い合わせください。



#### ⚠️ ご注意

カップはあらかじめ以下の「使用可能カップの確認方法」でカップが検知できるか確認の上、使用してください。カップの検知は、カップに超音波を当てその反射波の状態でカップの有無を判断しています。このため、使用可能カップ寸法のカップでもカップの形状やカップ表面の凹凸により、カップセンサーの検知が不安定になる場合がありますのでご注意ください。

#### ・使用可能カップの確認方法

手順	操作キー	操作方法	モニター画面表示
1	<b>テスト</b> <b>テスト</b>	コントローラーの下に付いているストッパー金具を化粧ねじをゆるめて外します。 カバーキーボードを開け、内部キーボードの【テスト】キーを2回押すと、入力テストモードになります。	02) ニュウリョクテスト タンクHオント° 90° C タンクジ ヨウキ 50° C タンクLオント° 65° C
2	<b>2</b> ×5回	【下】キーで項目を送り、「カップ検知」を表示させます。	02) ニュウリョクテスト Cハイスイトレイ ミス° ナシ カップ° ケンチ ナシ ノズ° ルタイキチ ON
3		取出口シャッターを開け、カップステージ中央に使用するカップを置きます。 「カップ検知」の項目が [アリ] になれば、カップ検知が可能です。  ※カップ表面に凹凸があるカップの確認を行う場合は、カップを回転させて全周で検知可能かの確認を行ってください。	02) ニュウリョクテスト Cハイスイトレイ ミス° ナシ カップ° ケンチ アリ ノズ° ルタイキチ ON
4	<b>終了</b>	【終了】で待機状態に戻ります。 カバーキーボードを閉め、外したストッパー金具を取り付けます。	2017/07/11 10:05 H95° C HL カスマン° イマテ° 37/14

#### ⚠️ ご注意

検知不可能なカップを使用する場合は、カップ検知機能を [OFF] で運用してください。

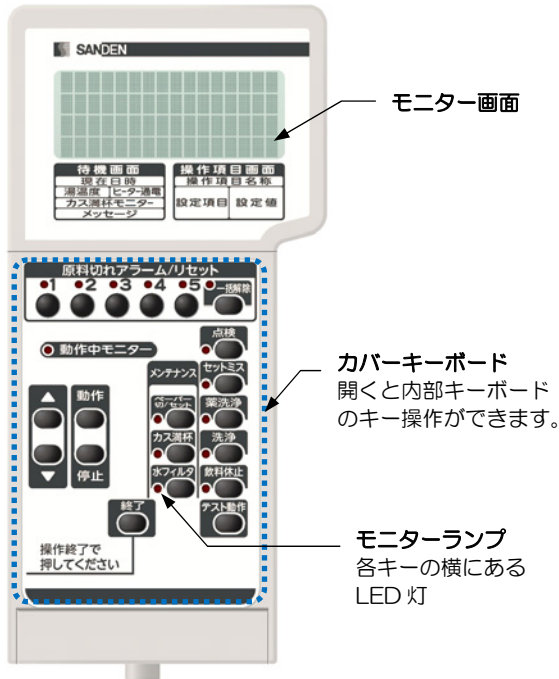
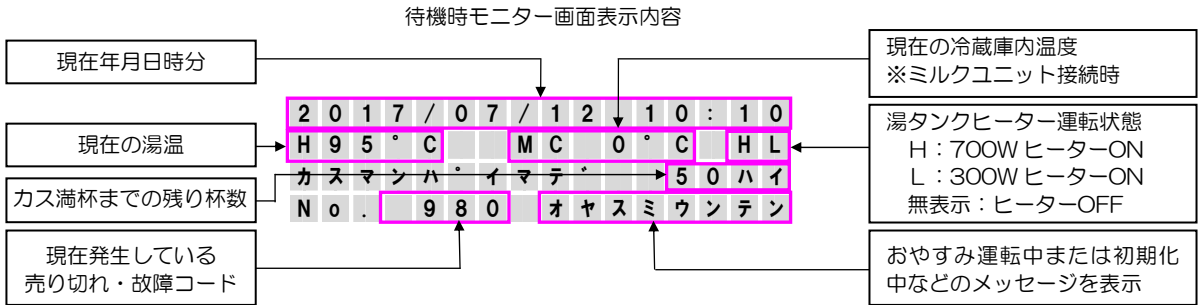
### 4.8 テスト搬出

湯タンクの温度が適温に達すると選択ボタン内のLEDが点灯し、搬出可能状態になります。カップをカップステージに置き、選択ボタンを押して飲料を搬出し以下の点を確認してください。

- 選択したボタンと搬出した豆原料（粉原料、ミルク原料）は合っているか。
- 飲料量は設定量に対して適切か。
- 紙送り量（出荷時設定の場合は100～120mm）は適切か。
- 飲料が通路外にこぼれていないか。コーヒー原料・粉原料の飛散がないか。
- 飲料の味覚に異常がないか。

# 5. コントローラー キーボード

## 5. 1 コントローラーの外観



※キーボードのキー操作部は2重になっており、カバーキーボードを開けた時と開いた時で異なる機能があります。日常のオペレーションでよく使う機能はカバーキーボードに配置し、初期設定やメンテナンスなどに使用する機能は内部キーボードに配置してあります。内部キーボードに関する操作については「技術資料」をご覧ください。

## 5. 2 カバーキーボード操作キー機能一覧表

キー名称	機能項目
点検	現在の売り切れ、故障状況表示/食衛ホールドリセット
セットミス	ブルワーチャンバー・ドリップパンセットミス解除
薬洗浄	薬剤によるリンス (ブルワー/※ミルク経路/※一括)
洗浄	湯・水によるリンス (ブルワー/ミキシングボール/※ミルク経路)
飲料休止	飲料搬出休止ボタンの設定
テスト動作	単品搬出動作テスト/ブルワー動作テスト/ミル動作テスト
ペーパー切/セット	ペーパーフィルター切れ表示/ペーパー交換作業補助
カス満杯	コーヒーカス満杯表示/リセット
水フィルター	水フィルター処理可能量表示/リセット
原料切れアラーム/リセット	豆・粉ホッパー原料切れ表示/リセット

※ミルクユニット接続時に表示される機能項目



# 5. コントローラー

## 5.3 項目別機能一覧表

### (1) カバーキーボードの使い方

キー名称	項目	機能・内容	操作方法とモニター点灯仕様
点検	現在の売切れ項目表示	1回のキー押下で現在発生している売切れ内容を表示します。 ・売り切れ発生した年/月/日/時/分の表示 ・売切れコードの表示 ・売切れ内容の表示 ・最大表示項目数16件 ・内部キーボードの【点検】01)機能と同一内容	【点検】×1回  点灯：操作時 点滅：売り切れ項目発生時
	現在の故障項目表示	2回のキー押下で現在発生している故障内容を表示します。 ・故障発生した年/月/日/時/分の表示 ・故障コードの表示 ・故障内容の表示 ・最大表示16件 ・内部キーボードの【点検】02)機能と同一内容	【点検】×2回  点灯：操作時 点灯：故障項目発生時
	食衛売切れホールドリセット	3回のキー押下で食衛売り切れホールドのリセットを行う画面を表示します。 ・内部キーボード【メンテナンス】「05)食衛ホールド機能」を【有効】設定で使用している場合に、食衛売切れホールド機能が作動します。 ・画面の案内メッセージに従い操作してください。	【点検】×3回  点灯：操作時
セットミス	ブルワーチャンバー／ドリップパンセットミス復帰	ブルワーチャンバーまたはドリップパンを装着せずに抽出動作を行うと、抽出動作開始後、エラーとなり停止します。 停止した場合は、【セットミス】→【動作】を押すと、ドリップパンが初期化動作し待機位置で停止します。停止したら、ブルワーチャンバーまたはドリップパンを正しい位置に取り付けてください。 取り付け後、必ず【終了】キーを押して終了させてください。	【セットミス】→【動作】  点灯：操作時 点滅：動作時 点灯：ブルワーチャンバーセットミス発生時

# 5. コントローラー

## 5.3 項目別機能一覧表

### (1) カバーキーボードの使い方

キー名称	項目	機能・内容	操作方法とモニター点灯仕様
薬洗浄	薬剤ブルーワックス	<p>薬剤を使用してブルーを洗浄する機能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あらかじめ組み込まれたプログラムに従い自動的に洗浄工程が進行します。</li> <li>・画面の案内メッセージに従い薬剤をペーパーフィルター上のブルーチャンパー中心にセットします。</li> </ul> <p>※薬剤は必ず指定薬剤を使用ください。 ※このプログラムは、洗浄を開始すると終了するまで途中で停止できません。 時間に余裕のあるときに実施してください。 所要時間：約 7.5 分</p>	<p>【薬洗浄】→【動作】 以降画面メッセージに従い操作してください。</p> <p>点灯：キー操作中 点滅：動作実行中 消灯：洗浄終了</p> <p>ブルー用指定薬剤 RCM-CLNT20</p>
	薬剤リンス ・ブルーリンス ・ミルク経路リンス ・一括リンス (ミルクユニット接続時)	<p>薬剤を使用してブルーまたはミルクユニットをあらかじめ組み込まれたプログラムに従い自動的に洗浄する機能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本キーを押し、【▽】キーでいずれかのメニューを選択後、【動作】キーで決定し、画面の案内メッセージに従い、操作してください。</li> </ul> <p>①ブルーリンス ブルー洗浄用薬剤をペーパーフィルター上のブルーチャンパー中心にセットします。 所要時間：約 7.5 分</p> <p>②ミルク経路リンス ミルク経路洗浄用薬液を入れたミルクタンクを冷蔵庫内にセットします。 終了後は、ミルクタンク内に残った洗浄用薬液を捨て、タンクを水ですすいでください。 所要時間：約 6.5 分</p> <p>③一括リンス ブルーリンスとミルク経路リンスの両方を一括して連続で行います。 ブルー洗浄用薬剤をペーパーフィルター上のブルーチャンパー中心にセットし、ミルク経路洗浄用薬液を入れたミルクタンクを冷蔵庫内にセットします。 所要時間：約 14 分</p> <p>※薬剤、薬液は必ず指定薬剤を使用ください。 ※このプログラムは洗浄を開始すると終了するまで途中で停止できません。 時間に余裕のあるときに実施してください。</p>	<p>【薬洗浄】→【△】【▽】キーで項目選択→【動作】 以降画面メッセージに従い操作してください。</p> <p>点灯：キー操作中 点滅：動作実行中 消灯：洗浄終了</p> <p>ブルー用指定薬剤 RCM-CLNT20</p> <p>ミルクユニット用指定薬剤 RCM-MLC07</p>
洗浄	ブルーリンス／ミキシングボールリンス	<p>湯でブルーまたはミキシングボールを洗浄する機能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本キーを押し、【▽】キーでいずれかのメニューを選択後、【動作】キーで決定するとリンス（洗浄）動作を開始します。</li> <li>・ミキシングボールはオプションのパウダーユニット内にあります。 パウダーユニットを増設していない場合にミキシングボールリンスを実行したときは、一定時間経過後選択画面に戻ります。</li> </ul>	<p>【洗浄】→【△】【▽】キーで項目選択→【動作】</p> <p>点灯：キー操作中 点滅：動作実行中 消灯：洗浄終了</p>
	ブルーリンス／ミルク経路リンス (ミルクユニット接続時)	<p>湯でブルーまたは湯・水でミルク経路を洗浄する機能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本キーを押し、【▽】キーでいずれかのメニューを選択後、【動作】キーで決定するとリンス（洗浄）動作を開始します。</li> <li>・ミルク経路はオプションのミルクユニット内とミルクノズルまでです。</li> </ul>	<p>【洗浄】→【△】【▽】キーで項目選択→【動作】</p> <p>点灯：キー操作中 点滅：動作実行中 消灯：洗浄終了</p>

# 5. コントローラー

## 5.3 項目別機能一覧表

### (1) カバーキーボードの使い方

キー名称	項目	機能・内容	操作方法とモニター点灯仕様
飲料休止	飲料休止の設定	<p>特定の飲料の提供を休止するときに使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【飲料休止】キーを押した後、【▽】【△】キーで提供休止したいボタン番号にカーソルを移動し、【動作】キーを押します。</li> </ul> <p>表示が【ハンバイ】から【キュウシ】になり、該当選択ボタンの飲料が提供休止になります。</p> <p>【動作】キーを押す毎に【ハンバイ】【キュウシ】設定が切り替わります。</p> <p>※複数の選択ボタンに同じ飲料コードが割り付けてある場合は、その選択ボタン全てが【キュウシ】設定となります。</p>	<p>【飲料休止】→【△】【▽】キーでボタン選択→【動作】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【ハンバイ】：提供可能</li> <li>・【キュウシ】：提供休止</li> </ul>
テスト動作	単品テスト フルワーテスト ミルテスト	<p>テスト動作を行うときに使用します。</p> <p>本キーを押すと次のメニューを表示します。</p> <p>目的によりメニューから選択してください。</p> <p>※本機能は、扉を開いた状態でのみ動作します。</p> <p>①タンピンテスト（単品テスト）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【動作】キーを押した後、選択ボタンを押すと抽出動作を行います。</li> <li>・湯低温、原料切れ、排水満水、カス満杯、湯タンク低水位の状態であっても動作します。</li> </ul> <p>②フルワーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【▽】キーで選択し【動作】キーを押すと駆動モーターが動作し、ドリップパンが待機位置→上死点位置→下死点位置→待機位置と1往復します。</li> <li>・紙送り動作はしません。</li> </ul> <p>③ミルテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【▽】キーで選択し【動作】キーを押すと最大10秒間ミルが動作します。</li> <li>途中停止するときは【停止】キーを押します。</li> </ul> <p><b>⚠ ご注意</b></p> <p>ミルを動作させる時はミル内に手を入れないでください。</p> <p>内部に高速で回転する機構部分があり、けがをする恐れがあります。</p> <p><b>⚠ ご注意</b></p> <p>ミルを動作させるとミル内部の残留原料粉が吐出口から吹き出す事があります。吐出口から出る原料粉を受ける準備をしてから動作させてください。</p>	<p>【テスト動作】→【△】【▽】キーで項目選択→【動作】</p> <p>モニターランプはありません</p>
ペーパー切/セット	ペーパー切れお知らせ ペーパーセット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーフィルターが無くなるとモニターランプが点灯し、お知らせします。</li> <li>・本キーを押すとペーパーセットモードになります。</li> <li>続けて【動作】キーを押すとドリップパンが最下点位置まで降下するので新しいペーパーフィルターをセットしてください。</li> <li>・ペーパーフィルターのセットができれば再度【動作】キーを押すと、ドリップパンが待機位置まで上昇して動作を終了します。【終了】キーを押したときも同じ動作をします。</li> </ul> <p><b>⚠ ご注意</b></p> <p>ペーパーフィルターのセット作業中はコントローラーの操作はしないでください。</p> <p>ドリップパンが急に動き出し手を挟まれる恐れがあります。</p>	<p>【ペーパーセット】→【動作】</p> <p>点灯：操作中 点灯：ペーパー切れ 点滅：5杯以内にペーパー切れ（予告）</p>

# 5. コントローラー

## 5.3 項目別機能一覧表

### (1) カバーキーボードの使い方

キー名称	項目	機能・内容	操作方法とモニター点灯仕様
カス満杯	カス満杯アラーム/ リセット	<p>カス満杯アラームカウンターのリセットを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーヒーの抽出回数が、設定された満杯数に達すると、カス満杯として飲料提供動作を停止します。カス満杯数が「0」に設定されている場合はこの機能は働きません。</li> <li>・満杯数の設定は、内部キーボードの【メンテナンス】「03」カス満杯数アラームで行います。</li> <li>・カスを廃棄し、本キーを操作することで満杯カウンターが設定値にリセットされ飲料提供ができるようになります。</li> <li>・1杯に使用する豆原料量 10g に対し 1 杯減算します。(12g の場合は 1.2 杯減算) 例：満杯数 50 杯の設定時に 12g の飲料を出し続けると 42 杯で満杯となります。</li> </ul>	<p>【カス満杯】→ リセットするときは【動作】</p> <p>点灯：操作中 点灯：カス容器が満杯 点滅：5 杯以内にカスが満杯 (予告)</p>
水フィルタ	水フィルタアラーム/ リセット	<p>水フィルターの処理可能な水量の確認とアラームのリセットを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理可能水量が警告レベル設定値以下でモニターランプが点滅、売り切れレベル設定値以下でモニターランプが点灯し、交換時期をお知らせします。設定値の変更は、内部キーボードの【メンテナンス】「02」水フィルタアラームで行います。</li> <li>・水フィルターを交換した場合は、本キーによりアラームのリセットを行ってください。</li> </ul> <p>※初期設定値は、水フィルターの処理可能水量の残りが 1L になると飲料提供が停止します。</p>	<p>【水フィルタ】→ リセットするときは【動作】</p> <p>点灯：操作中 点灯：売り切れレベル以下 点滅：警告レベル以下</p>
原料切れアラーム/ リセット	<p>注) 機種により搭載していない番号も表示されます。</p>	<p>リセットした後の累計原料使用量が原料毎に設定された値になると原料売り切れとしてその原料を使用した飲料の搬出を停止します。但し、設定値を「0」とした時は設定が無効となり、売り切れ判定をしません。設定値の変更は、内部キーボードの【メンテナンス】「04」原料切れアラームで行います。</p> <p>原料売り切れとなった場合は原料を満杯に補給後、本キーを操作してカウンターをリセットします。このリセットにより搬出停止が解除されます。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>△ ご注意</b></p> <p>原料を補給せずにこのリセット操作を行うと、原料が入らない飲料が提供されてしまいます。必ず原料補給をしてからリセット操作をしてください。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>△ ご注意</b></p> <p>内部キーボード【メンテナンス】「04」原料切れアラームで設定する値は、お客様の運用状態(毎回満杯まで補給する、毎回 1 袋ずつ補給する等)に合わせて設定値を変更してお使いください。</p> </div>	<p>原料切れアラーム/リセット 枠内の【1】～【5】キー→ リセットするときは【動作】</p> <p>点灯：操作中 点灯：原料売り切れ発生時</p>
	<p>1 キー 2 キー 3 キー 4 キー 5 キー 一括解除キー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原料 1 (豆 1) を設定値にリセットします。</li> <li>・原料 2 (豆 2) を設定値にリセットします。</li> <li>・原料 3 (豆 3) を設定値にリセットします。</li> <li>・原料 4 (粉 1) を設定値にリセットします。※</li> <li>・原料 5 (粉 2) を設定値にリセットします。※</li> <li>・原料 1～5 を一括で設定値にリセットします。</li> </ul>	<p>※原料 4, 5 はパウダーユニット接続時に使用します。</p>

## 6. 定期的清掃・お手入れ



### 警告

電気部品に水をかけない  
水で濡れると感電の恐れがあります。



### 注意

原料や飲料が触れる部分は、食品衛生法に従って、常に清潔にする  
不適正な日常衛生管理は事故の発生の恐れがあります。



- 提供飲料の衛生管理および製品機能の保持のため、製品各部の清掃を定期的に行ってください。  
お客様に提供する商品が衛生的で最高の品質であるよう常に心がけて清掃管理を実施してください。

### 6. 1 清掃区分

#### 清掃に当たってのご注意

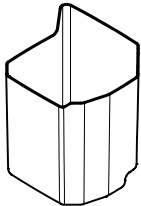
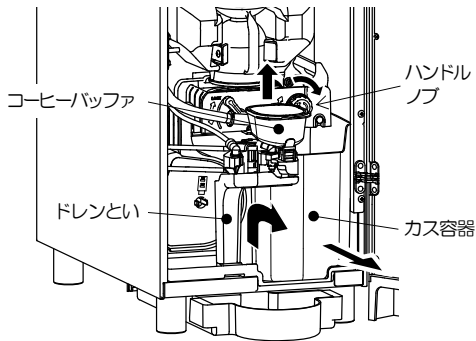
- (1) 製品を汚れたままにしておくと、微生物が増殖し、飲料品質の低下や食中毒の原因となるので、清掃は必ず実施すること。
- (2) 原料、カップなど飲料が触れる部品は常に清潔にすること。
- (3) 食品に接触する部品を清掃するタオル類は、ペーパータオル等の常に清潔な物を使用すること。  
他の清掃用タオルと混用しないこと。
- (4) 扉のパネル部は水拭きで清掃してください。パネル部にアルコールは絶対に使用しないでください。  
表面の汚れが落ちにくいときは、うすめた中性洗剤と柔らかな布で清掃し、良くふき取ってください。
- (5) 中性洗剤以外の洗剤・溶剤・みがき粉などは樹脂部品を傷めるため使用しないこと。  
中性洗剤は柑橘系（オレンジやグレープフルーツ等）の成分を含むものは使用しないでください。  
特に塩素系成分を含んだ洗剤・漂白剤・殺菌剤は部品が破損する事があります。
- (6) 電気部品には絶対に水をかけないこと。

清掃周期	No.	清掃箇所
①50杯毎の清掃	1	カス容器
②毎日の清掃	1	ブルワーチャンバー/チャンバーダクト
	2	ダクトボックス/ダクトフィルター
	3	ドレンとい
	4	排水トレイ
	5	カップステージ
	6	取出口シャッター/取出口内面
	7	コーヒーミル吐出口
	8	薬剤ブルワーリンス
③500杯または 一週間に1回以上の清掃	1	豆シュート
	2	コーヒーバッファ/バッファカバー/バッファノズル/バッファフィルター
	3	ドリップパン
	4	ドレンパン
	5	換気フィルター
	6	排水ストレーナー
④提供を長期間停止する場合	1	①～③の全て

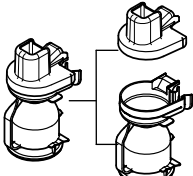
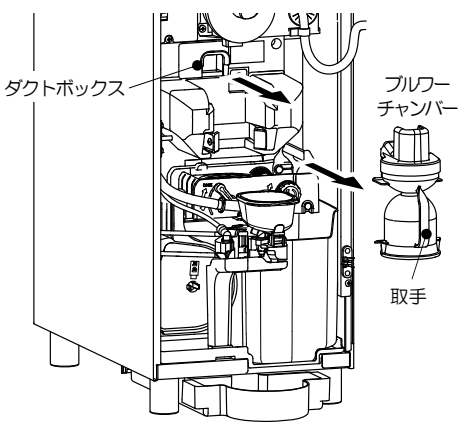
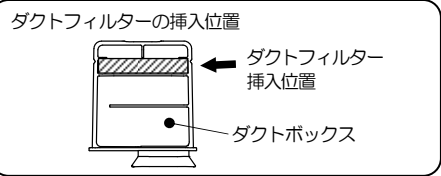
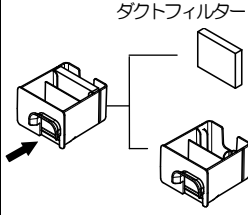
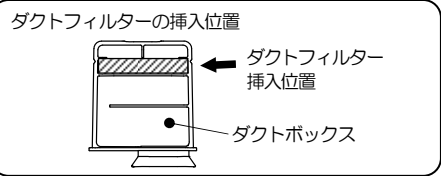

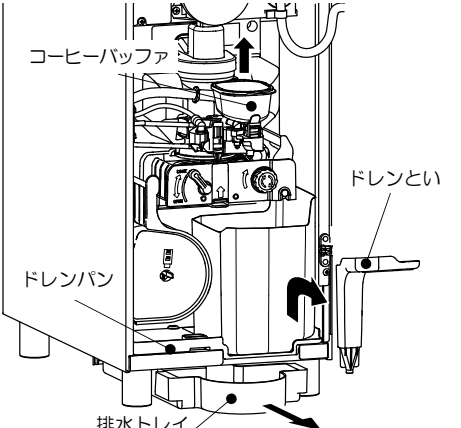
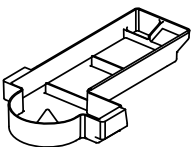
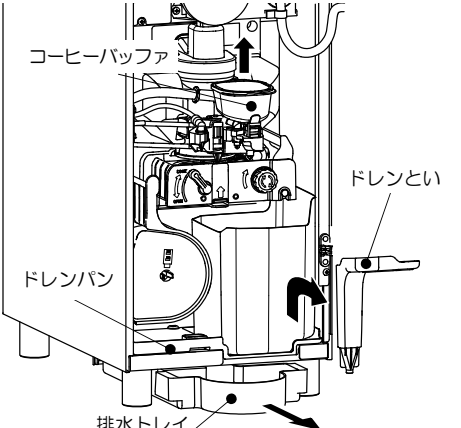
# 6. 定期的清掃・お手入れ

## 6. 2 清掃周期と清掃箇所

### (1) 50杯毎の清掃


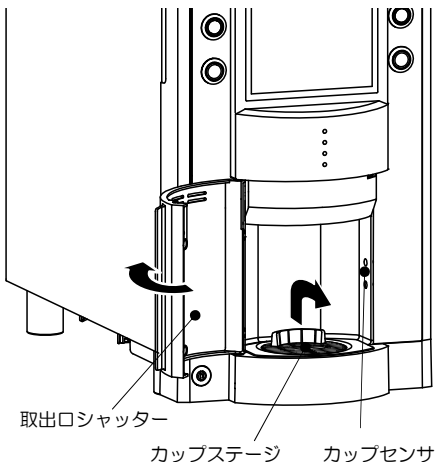

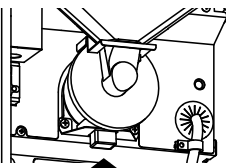
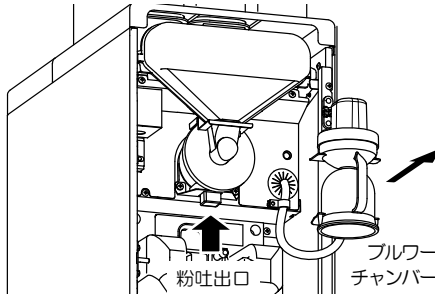

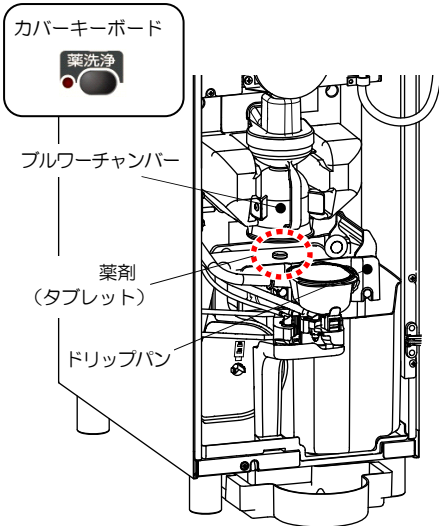
No.	清掃箇所	清掃方法	位置
1	カス容器 	①ハンドルノブを時計回りに回しペーパーフィルターを5~10cm送る。 ②ペーパーフィルターをはさみ等で切断し、ペーパーとカスを容器に落とす。 ③コーヒーバッファを上方にスライドして固定する。 ④ドレンといを上へ引き抜き、外す。 ⑤カス容器を引き出す。 ⑥コーヒーカスを廃棄後、水洗いし水気を拭き取り、再セットする。	

### (2) 毎日の清掃

No.	清掃箇所	清掃方法	位置
1	ブルワーチャンバー チャンバーダクト  フlowerチャンバー	販売数が多い場合は、販売数150杯を目安に清掃してください。 ①ブルワーチャンバーの取手を握り、手前に引き出す。 ②ブルワーチャンバーとチャンバーダクトを分解して水洗い後、水気を拭き取り、組み直して元の位置へ納める。 ⚠️ 湯漏れの恐れがありますので、チャンバーダクトは確実にブルワーチャンバーにセットしてください。	 
2	ダクトボックス ダクトフィルター  ダクトボックス	①ブルワーチャンバーの取手を握り手前に引き出す。 ②ダクトボックスの矢印部に指をかけ、手前に引き抜く。 ③ダクトボックスとダクトフィルターを分解して水洗い後、水気を拭き取り、組み直して元の位置へ納める。 ⚠️ 湯気が吸気されなくなりますので、ダクトフィルター、ダクトボックスは確実にセットしてください。	
3	ドレンとい 	①コーヒーバッファを上方にスライドして固定する。 ②ドレンといを上へ引き抜き、水洗い後水気を拭き取り元の位置へもどす。 ⚠️ 飲料の搬出不良の恐れがありますので、外した部品は確実にセットしてください。	
4	排水トレイ 	①扉を開け、排水トレイを手前に引き出す。 ②排水を捨て、水洗いし水気を拭き取り、元の位置へもどす。 ⚠️ 水漏れの恐れがありますので、外した部品は確実にセットしてください。	

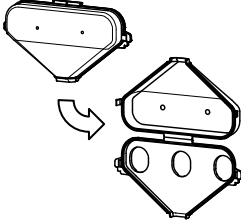
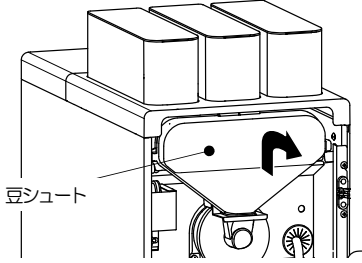
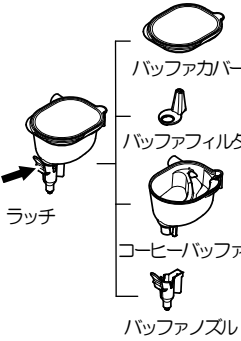
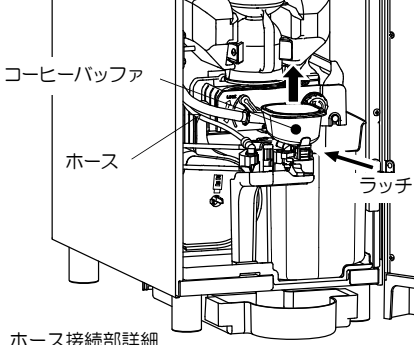
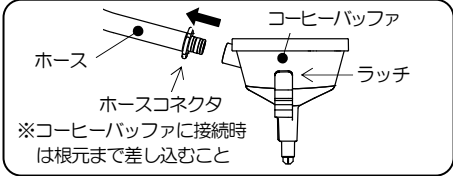
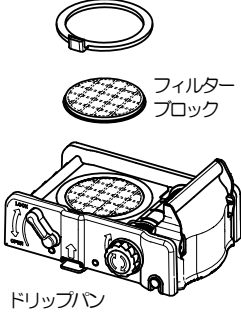
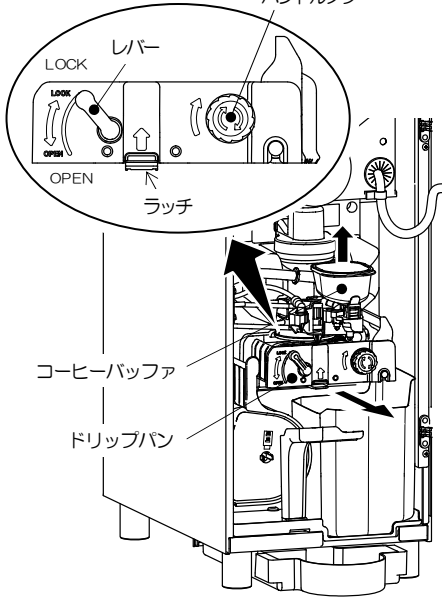
# 6. 定期的清掃・お手入れ

## (2) 毎日の清掃

No.	清掃箇所	清掃方法	位置
5	カップステージ 	① 取出口シャッターを開く。 ② カップステージの手前側を上げて取り外して水洗いする。 ③ 水気を拭き取り元の位置へもどす。取り付ける際は、カップステージの後ろ側の爪を先に差し込む。	 <p>取出口シャッター カップステージ カップセンサー</p>
6	取出口シャッター 取出口内側面   右奥の側面にカップセンサーがあります。センサー表面部に水滴、ゴミの付着等があるとカップの検知が正しくできませんので、汚れがない様に清掃してください。	① 取出口シャッターを開き、湿らせたタオル等で内外面の汚れを拭き取る。 ② カップステージ奥の側面の汚れを湿らせたタオル等で拭き取る。	
7	コーヒーミル吐出口  <p>粉吐出口</p>	① ブルワーチャンバーの取手を握り手前側に引き出す。 ② ミル下面の粉出口部に付着した原料を清潔なブラシで除去する。	 <p>粉吐出口 ブルワーチャンバー</p>
8	薬剤ブルワーリンス   ノズルから熱湯が出ます。やけどに注意してください。終了まで、約7.5分かかります。扉を開けて行う場合は、終了するまで製品の前を離れないでください。	① カバーキーボードの【薬洗浄】→【動作】キーを押し、ドリップパンを下げる。 ※ミルクユニット接続時は【薬洗浄】→【▽】キーを押し、[1.ブルワー]を選択後、【動作】キーを押し、ドリップパンを下げる。 ② ブルワーチャンバーとドリップパンの隙間が開いたら、ペーパー上のブルワーチャンバーの中心に薬剤(タブレット)を1錠置く。 ③ カバーキーボードの【動作】キーを押し洗浄を開始する。 ④ “ピー”音がしたら洗浄終了。  <b>【専用薬剤：RCM-CLNT20】</b>	 <p>カバーキーボード 薬洗浄 ブルワーチャンバー 薬剤(タブレット) ドリップパン</p>

# 6. 定期的清掃・お手入れ


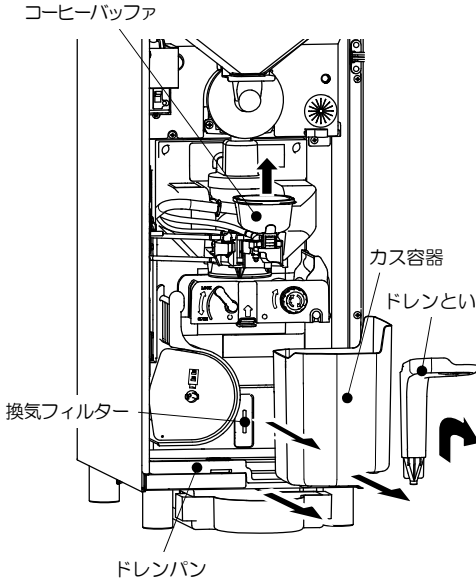
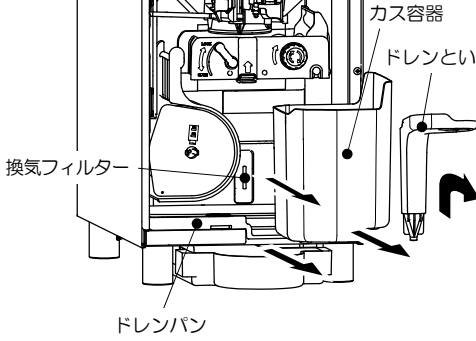
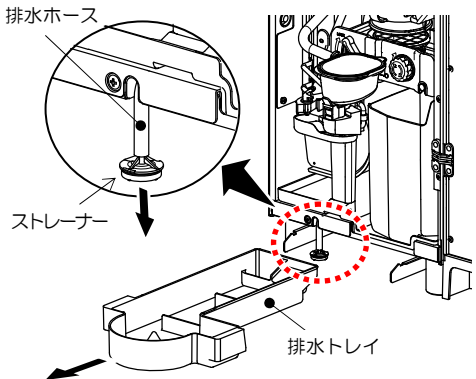
## (3) 500杯または一週間に1回以上の清掃

No.	清掃箇所	清掃方法	位置
1	豆シュート 	<ol style="list-style-type: none"> <li>豆シュートを上げながら手前にはずす。</li> <li>豆シュートを開いて清潔なタオル等で内外面の原料を拭き取る。</li> <li>豆シュートを閉じて元の位置にもどす。</li> </ol> <p><b>!</b> コーヒーの抽出不良になりますので、豆シュートは確実にセットしてください。</p>	
2	コーヒーパッファ パッファノズル パッファカバー パッファフィルタ 	<ol style="list-style-type: none"> <li>コーヒーパッファからホースコネクタを抜く。</li> <li>コーヒーパッファのラッチを押し、上に引き抜く。</li> <li>コーヒーパッファとパッファノズル、パッファカバー、パッファフィルタを分解して水洗い後、水気を拭き取り、組み直して元の位置へ納める。</li> <li>ホースコネクタをコーヒーパッファに接続する。</li> </ol> <p><b>!</b> コーヒーの抽出不良になりますので、コーヒーパッファ、パッファフィルタ、パッファノズルは確実に組み付けてください。</p> <p><b>!</b> 水漏れの恐れがありますので、コーヒーパッファ・ホースコネクタは確実にセットしてください。</p>	 <p>ホース接続部詳細</p>  <p>※コーヒーパッファに接続時は根元まで差し込むこと</p>
3	ドリップパン フィルターブロック パッキン 	<ol style="list-style-type: none"> <li>ハンドルノブを時計回りに回しペーパーフィルターを5~10cm送る。</li> <li>ペーパーフィルターをはさみ等で切断し、ペーパーとカスを容器に落とす。</li> <li>コーヒーパッファを上方にスライドして固定する。</li> <li>ドリップパン前面のレバーを「OPEN」(下側)まで回す。</li> <li>ドリップパン前面のラッチを上押ししながらドリップパン全体を手前に抜く。</li> <li>ドリップパンからフィルターブロックパッキンとフィルターブロックを外して水洗い後、水気を拭き取り、組み直して元の位置へ納める。</li> <li>ドリップパン前面のレバーを「LOCK」(上側)まで回してロックする。</li> </ol> <p>※レバーが「LOCK」の位置にないと、売り切れコード「3056-01：ドリップパンセットミス」が発生し搬出できません。</p> <p><b>!</b> コーヒーの抽出不良になりますので、フィルターブロックとフィルターブロックパッキンは確実にドリップパンにはめ込んでからドリップパンをセットしてください。</p>	<p>ドリップパン詳細</p>  <p>レバー LOCK OPEN ラッチ ハンドルノブ コーヒーパッファ ドリップパン</p>



## 6. 定期的清掃・お手入れ

### (3) 500杯または一週間に1回以上の清掃

No.	清掃箇所	清掃方法	位置
4	ドレンパン	<ol style="list-style-type: none"> <li>① コーヒーパッファを上方にスライドして固定する。</li> <li>② ドレンといを上引き抜き、外す。</li> <li>③ カス容器を引き出す。</li> <li>④ ドレンパンを手前に引き出し、水洗い後水気を拭き取り元の位置へもどす。</li> </ol> <p> 水漏れの恐れがありますので、外した部品は確実にセットしてください。</p>	
5	換気フィルター	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ハンドルノブを時計回りに回しペーパーフィルターを5~10cm送る。</li> <li>② ペーパーフィルターをはさみ等で切断し、ペーパーとカスを容器に落とす。</li> <li>③ コーヒーパッファを上方にスライドして固定する。</li> <li>④ ドレンといを上引き抜き、外す。</li> <li>⑤ カス容器を引き出す</li> <li>⑥ 換気フィルターのつまみをつかんで引き出す。</li> <li>⑦ 換気フィルターと換気フィルター枠に分解して水洗い後、水気を拭き取り、組み直して元の位置へ納める。</li> </ol>	
6	排水ストレーナー	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 扉を開け、排水トレイを手前に引き出す。</li> <li>② 排水ホース先端から排水ストレーナーを抜く。</li> <li>③ ストレーナーとストレーナー本体に分解して水洗い後、組み直して元の位置へ取り付ける。取り付ける際は、ストレーナー本体の根元まで排水ホースを差し込む。</li> </ol>	

### 6. 3 提供を長期間停止する場合

- ① 製品から原料を抜いてください。
- ② 6. 2項の(1)「50杯毎の清掃」から(3)「500杯または一週間に1回以上の清掃」までの清掃項目を全て実施してください。
- ③ 給水配管の元栓を閉めて、給水配管を製品から取り外してください。
- ④ 漏電遮断器を「切」にし、湯タンクドレンホースで湯を500mL程度抜き取ります。
- ⑤ 製品背面の給水口の下にカップ等を置いたあと漏電遮断器を10秒間「入」にし、給水口から出てきた水を受けてください。
- ⑥ 漏電遮断器を「切」にして、湯タンクドレンホースで残った湯タンク内の水をすべて抜いてください。
- ⑦ 洗浄後は機体を十分乾燥させてください。
- ⑧ 電源プラグを抜いて、ポリシートなどを製品にかけてください。

## 6. 定期的清掃・お手入れ

### 6.4 消耗部品

#### (1) 消耗部品一覧





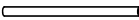
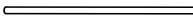


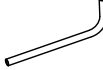

下記の部品は消耗部品です。期限がきたら交換していただく部品です。

部品名	外 観	交換時期	備考
ペーパーフィルター		約 1100 杯	ペーパー切れ検知機能あり
コーヒーミル		累計動作時間 200 時間	キーボードモニターに交換時期 警告表示あり
抽出ポンプ (チューブ部)		累計動作時間 300 時間	キーボードモニターに交換時期 警告表示あり
排水ポンプ (チューブ部)		累計動作時間 500 時間	キーボードモニターに交換時期 警告表示あり
ペーパー押さえローラ		1 年間	
フィルターブロック		1 年間	
フィルターブロックパッキン		1 年間	
Oリング (AS568-009)		1 年間	ドリップパン勘合部のOリング 材質：シリコン
ダクトフィルター (48×60×t10)		1 年間	
換気フィルター (60×76×t10)		1 年間	
香り出しファンフィルター (33×60×t10)		1 年間	
OリングS8		1 年間	ホースコネクタの先端部2カ所 材質：シリコン
バッファフィルター		1 年間	

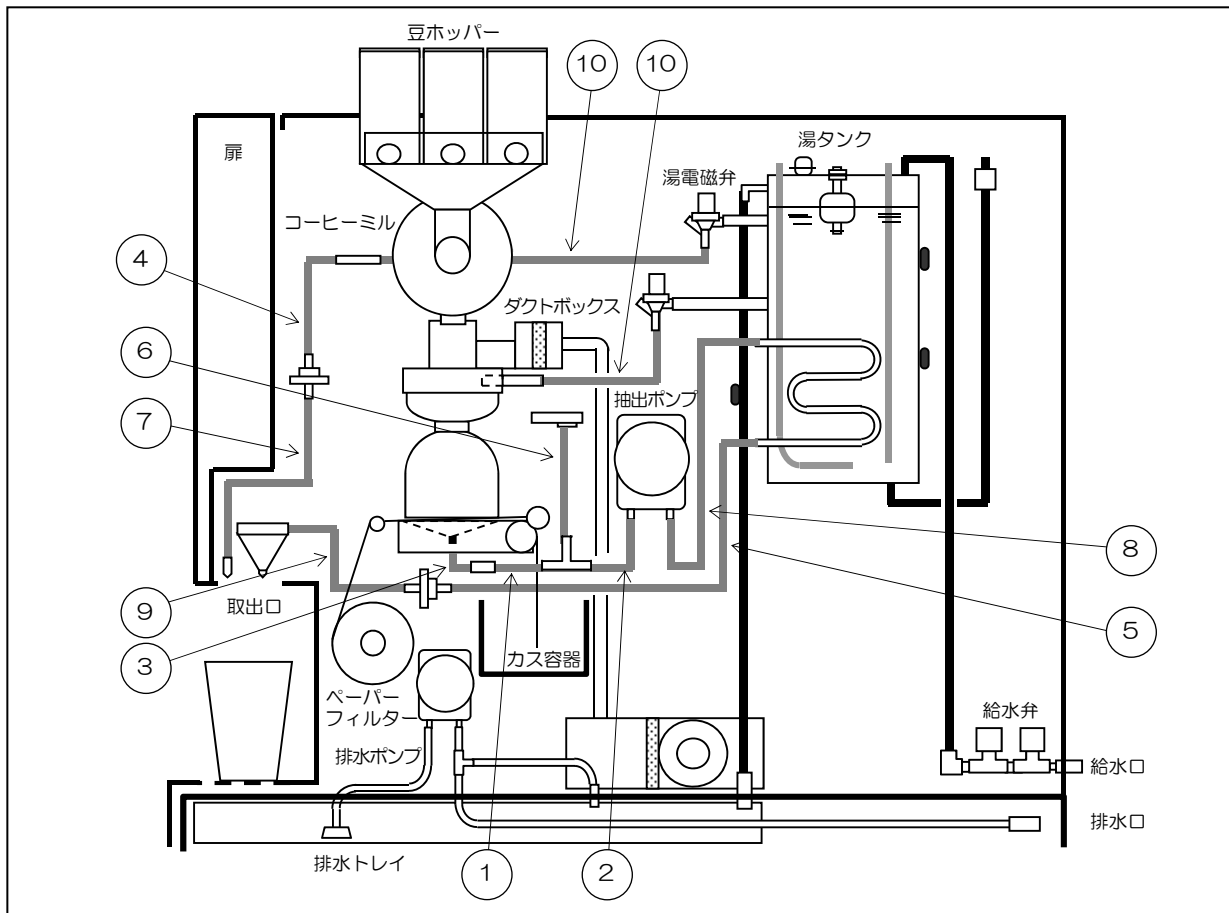
# 6. 定期的清掃・お手入れ

## 6. 4 消耗部品

(1) 消耗部品一覧 下記の部品は消耗部品です。期限がきたら交換していただく部品です。

部品名	外 観	交換時期	備考
ホース (内径 5.5mm、長さ 45mm)		1 年間	配管図中①
ホース (内径 5.5mm、長さ 70mm)		1 年間	配管図中②
ホース (内径 5.5mm、長さ 90mm)		1 年間	配管図中③
ホース (内径 5.5mm、長さ 120mm)		1 年間	配管図中④
ホース (内径 7mm、長さ 180mm)		1 年間	配管図中⑤
ホース (内径 5.5mm、長さ 270mm)		1 年間	配管図中⑥
ホース (内径 5.5mm、長さ 280mm)		1 年間	配管図中⑦
ホース (内径 7mm、長さ 500mm)		1 年間	配管図中⑧
コーヒーホース		1 年間	配管図中⑨
給湯エルボ (長さ 115)		1 年間	配管図中⑩ (2ヶ所)

(2) 消耗部品使用箇所 (配管図)



# 7. 故障診断

故障診断には

1. 扉裏面及び製品背面の警告表示モニターの確認
  2. カバーキーボードの【点検】キーによる売切れ項目・故障項目の表示確認
  3. 扉プロセス表示灯の最下段による売切れ項目・故障項目の発生確認
- による方法があります。

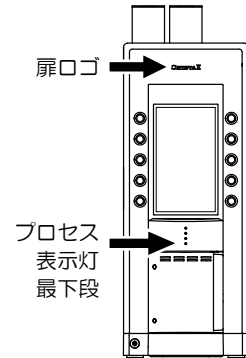
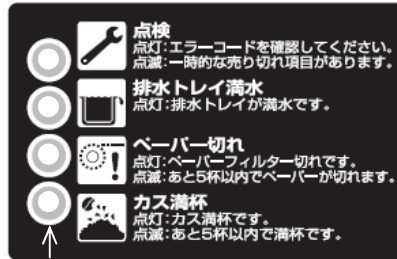
## 7. 1 警告表示モニターによる故障診断

扉裏面の警告表示モニター





製品背面の警告表示モニター

扉部表示灯

警告表示モニター		
点灯	点滅	
エラーコードを確認	一時的な売切れ	
排水トレイ満水		
ペーパー切れ	5杯以内にペーパー切れ	
カス容器が満杯	5杯以内にカスが満杯	



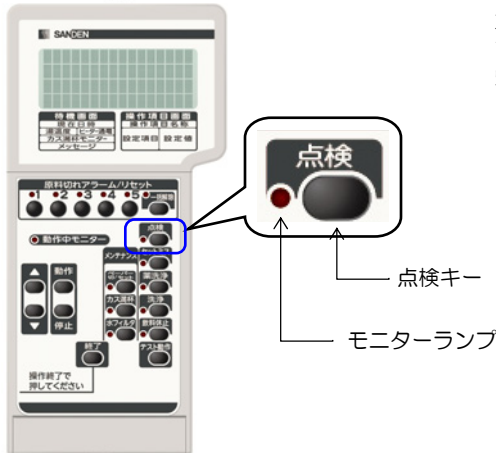
モニターランプ

警告表示モニター	ランプ	発生原因	処置
 点検	点滅	一時的な売切れ項目発生で飲料搬出を停止しています。	カバーキーボードの【点検】キーで売切れ内容を確認し、売切れコード一覧の解除方法にあった処置をおこなってください。
	点灯	点検が必要な故障発生で飲料搬出を停止しています。	カバーキーボードの【点検】キーで故障内容を確認し、故障コード一覧の解除方法のしたがって処置をおこなってください。
 排水トレイ満水	点灯	排水トレイが満水のため飲料搬出を停止しています。	排水トレイの排液を捨て、水洗いして水気を拭き取り再セットしてください。
 ペーパー切れ	点滅	5杯以内にペーパーフィルター切れとなります。	交換用のペーパーフィルターを準備してください。
	点灯	ペーパー切れのため飲料抽出を停止中です。	ペーパーフィルターを交換してください。
 カス満杯	点滅	5杯以内にカス満杯となります。	点滅中にコーヒーカスを廃棄し、リセットすれば売切れロスを未然に防止できます。
	点灯	カス満杯のため飲料抽出を停止中です。	カス容器のコーヒーカスを廃棄しアラームをリセットしてください。
プロセス表示灯最下段	点滅	5杯以内にペーパー切れまたはカス満杯となります。	扉裏面の警告表示モニターでどちらの原因かを確認し、原因にあった上記の対応をしてください。
	点灯	下記のいずれかの項目が発生しています。 ①点検ランプ点灯条件発生 ②排水トレイ満水 ③ペーパー切れ ④カス満杯	警告表示モニターのランプが点灯している項目を確認し、適切な処置をしてください。 (上記処置を参照してください)
扉ロゴ ※	点滅	飲料搬出ができない売り切れ項目や故障項目が発生しています。	扉裏面の警告表示モニターまたは【点検】キーで原因を確認し、原因にあった上記の対応をしてください。
	点灯	飲料搬出が可能な状態です。	—

※【機能】「O2」照明設定にて「扉ロゴ (RC)」が[自動]に設定されている場合に機能します。

# 7. 故障診断

## 7.2 キーボードによる故障診断



飲料搬出を制限する原因となる売切れ項目または故障項目が発生すると、キーボードの点検キー横のモニターランプが点滅または点灯します。

モニターランプ	製品の状態
点滅	売切れ項目が発生中
点灯	故障項目が発生中
消灯	売切れ及び故障項目はありません

### (1) 現在の売切れ項目を確認する。

手順	操作キー	操作方法	モニター画面表示
1	<b>点検</b>	カバーキーボードまたは内部キーボードの【点検】キーを1回押すと、現在発生中の売切れ項目の確認モードになります。 (表示例の場合) ・発生日時 : 2017年7月10日 9時30分 ・売切れコード : 905 ・売切れ内容 : レギュラーユティオン (レギュラー湯低温)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     売切れが有る場合                      01) ゲンザイウリキ                      2017/07/10 09:30                      No. 905                      レギュラーユティオン                 </div>
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     売切れが無い場合                      01) ゲンザイウリキ                      ウリキナシ                 </div>
2	<b>▽</b>	複数発生している場合は【▽】キーを押すと次の売切れ項目を表示します。 (表示例の場合) ・発生日時 : 2017年7月10日 7時15分 ・売切れコード : 903 ・売切れ内容 : ユタンクテイスイ (湯タンク低水位)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     01) ゲンザイウリキ                      2017/07/10 07:15                      No. 903                      ユタンクテイスイ                 </div>
3	<b>終了</b>	【終了】で待機状態に戻ります。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     2017/07/11 10:05                      H95°C HL                      カスマン イマテ 27/11                 </div>

注1. 最大16件表示します。

注2. 発生時刻の新しい順に表示します。

注3. 売切れコード、売り切れ内容、解除方法はP30「●売切れコード一覧」をご参照ください。

# 7. 故障診断

## (2) 現在の故障項目を確認する。

手順	操作キー	操作方法	表示
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">点検</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">点検</div>	カバーキーボードまたは内部キーボードの【点検】キーを2回押すと、現在発生中の故障項目の確認モードになります。 (表示例の場合) ・発生日時 : 2017年7月10日 15時30分 ・故障コード: 1702 ・故障内容 : フロートスイッチイショウ (フロートスイッチ異常)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">故障がある場合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">02</span> ゲンザイ/コショウ            2017/07/10 15:30            No. 1702            フロートスイッチイショウ         </div> <p style="text-align: center;">故障が無い場合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">02</span> ゲンザイ/コショウ            コショウナシ         </div> </div>
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">▽</div>	複数発生している場合は【▽】キーを押すと次の故障項目を表示します。 (表示例の場合) ・発生日時 : 2017年7月10日 9時00分 ・売切れコード: 3073 ・売切れ内容 : ミルモータロックイショウ (ミルモータロック異常)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">02</span> ゲンザイ/コショウ            2017/07/10 9:00            No. 3073            ミルモータロックイショウ         </div> </div>
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">終了</div>	【終了】で待機状態に戻ります。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">           2017/07/11 10:05            H95°C HL            カスマンパ イマテ 27ハイ         </div> </div>

注1. 最大 16 件表示します。

注2. 発生時刻の新しい順に表示します。

注3. 故障コード及び内容、解除方法は P32 「●故障コード一覧」をご参照ください。

# 7. 故障診断

## ●売切れコード一覧

※ミルクユニット接続時に表示される項目についても記載しています。

コード	画面表示	対象ユニット		売り切れ内容	発生原因	解除方法	
		コーヒー	ミルク				
売 切 項 目	901	ハイスマンズ	○		排水満水 排水トレイに 排液が満水	排水トレイ内の排液を捨て、排水 トレイを再セットする	
	902-01	Mリザーバタイプ		○	ミルクユニット リザーバ低水位	ミルクユニットリザーバ の水位が低水位スイッチ より低い	・給水断水の確認 ・ミルクユニットリザーバの水位 が低水位スイッチより高くなると 解除
	903	湯タンクタイプ	○		湯タンク低水位	湯タンクの水位が低水位 スイッチより低い	・給水断水の確認 ・湯タンクの水位が低水位スイッチ より高くなると解除
	904	MIX/お湯タイプ	○		インスタント系 湯低温	湯タンク温度が、「MIX/ お湯売切」の温度設定値 以下である	・湯タンク温度が、「MIX/お湯売切」 温度以上で解除 ・ヒーター動作の確認
	905	レギュラータイプ	○		レギュラー系 湯低温	湯タンク温度が、「RC 売 切」の温度設定値以下で ある	・湯タンク温度が、「RC 売切」 温度+2K 以上で解除 ・ヒーター動作の確認
	907	ホールド	○		湯温食衛売切れ ホールド	「食衛ホールド機能設定」 が有効かつ、湯タンクの温 度が64℃以上になった あと、64℃未満を20秒 継続したとき	・電源を切ってから、湯タンクドレ ンホースで、湯タンク内の水を 抜き、カバーキーボードの 【点検】×3回→【動作】キーに より食衛売切れリセットする ・ヒーター動作の確認
	911-01	ミルクタンク		○	ミルク原料売切れ	ミルクタンク内の原料が 売り切れている	ミルクタンクにミルクを1L以上 補給する
	980	ペーパー	○		ペーパー切れ	ペーパーフィルターが切 れている	新しいペーパーフィルターに交換 する
	988	湯タンク	○		湯タンク断水	電源「入」時は8分間、 通常の給水時は1分間給 水しても湯タンクが満水 にならない	・初期給水を行い、湯タンクが満水 になると解除 ・湯タンクフロートスイッチ確認 ・水道直結時は15分間隔で3分 間給水リトライを行い、給水完 了したら復帰 ・カセットタンク時は電源【切/入】 で再度初期給水動作を行う
	3031 ～ 3035	ゲノウウリキレキャニスタ 1 ゲノウウリキレキャニスタ 2 ゲノウウリキレキャニスタ 3 ゲノウウリキレキャニスタ 4 ゲノウウリキレキャニスタ 5	○		原料売り切れ	該当番号のホッパーの原 料が売り切れている	原料を満杯まで補給し、カバーキ ーボードの【原料切れアラーム/リ セット】キーを押してリセットす る
	3041-01	ミルクユニット 排水満水	○		ミルクユニット 排水満水	ミルクユニットの排水ト レイ満水センサーが満水 を検知している	ミルクユニットの排水トレイ内の 排液を捨て、排水トレイを再セッ トする
	3041-02	外部排水タンク 満水	○		外部排水タンク 満水	外部接続した排水タンク の満水センサーが満水 を検知している	外部排水タンク内の排液を捨て、 排水タンクを置き台に再セットす る
	3045-01	水フィルタ 処理水量限界	○		水フィルタ 処理水量限界	【メンテナンス】「02」 で設定された水フィルタ の処理水量を超えた	水フィルタを交換後、 【水フィルタ】→【動作】キーで アラームをリセットする
	3046-01	ミルク経路の薬剤 リンス期限切れ	○		ミルク経路の薬剤 リンス期限切れ	ミルク経路の薬剤リンスが 設定時間以上実施されてい ない	ミルクユニットの薬剤洗浄を実施 する

# 7. 故障診断

## ●売切れコード一覧

※ミルクユニット接続時に表示される項目についても記載しています。

コード	画面表示	対象ユニット		売り切れ内容	発生原因	解除方法		
		コーヒー	ミルク					
売 切 項 目	3046-02	ミルク予約行け LV1	○	○	ミルク長期停電 LV1 発生	ミルクユニット薬剤洗浄後 ミルク飲料搬出なし時の 断電経過時間が 2h 以上 27h 未満 ミルク飲料搬出あり時の 断電経過時間が 20min 以上 2h 未満	ミルクユニットの薬剤洗浄を実施 する	
	3046-03	ミルク予約行け LV2	○	○	ミルク長期停電 LV2 発生	ミルク飲料搬出あり時の 断電経過時間が 2h 以上 27h 未満	ミルクユニットの薬剤洗浄を実施 する	
	3046-04	ミルク予約行け LV3	○	○	ミルク長期停電 LV3 発生	ミルク飲料搬出なし時の 断電経過時間が 27h 以上	ミルクユニットの薬剤洗浄を実施 する	
	3046-05	ミルク予約行け LV4	○	○	ミルク長期停電 LV4 発生	ミルク飲料搬出あり時の 断電経過時間が 27h 以上	サービスマンによる洗浄が必要 コールセンターへ連絡する	
	3048-01	リザーバタンク			○	ミルクユニット リザーバ断水	電源「入」時または通常 の給水時に 3 分間給水し てもミルクユニットリザ ーバが満水にならない	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期給水を行い、リザーバが満 水になると解除</li> <li>リザーバフロートスイッチ確認</li> <li>水道直結時は 15 分間隔で 3 分 間給水リトライを行い、給水完 了したら復帰</li> <li>カセットタンク時は電源 [切/入] で再度初期給水動作を行う</li> </ul>
	3052	カバーセットミス	○			ブルワーチャンバ ーまたはドリッ パンが正常位置に セットされていな い	ブルワーチャンバーまた はドリッパンがセット されていない	カバーキーボードの【セットミス】 →【動作】キーを押して初期化動 作させ、ブルワーチャンバーまた はドリッパンを再セットする。 セット後【終了】キーを押す
	3053	カスマンパイ	○			コーヒークラス容器 が満杯	抽出杯数が「カスマンパ イアラーム」設定で設定 された満杯数に達した	カス容器内のコーヒークラスを捨て、 カバーキーボードの 【カス満杯】→【動作】キーを押 してリセットする
	3055-01	冷蔵庫サーモ			○	冷蔵庫食衛ホールド	冷蔵庫内の温度が 10℃ 以下になった経歴があ り、その後 11℃以上が 20 分以上継続したか、電 源再投入時に 11℃以上	ミルクユニットの薬剤ミルク経路 リンスを実施する
	3055-02	冷蔵庫コウ			○	冷蔵庫内高温	冷蔵庫内の温度が設定値 以上になった場合 ただし、ミルクユニット 扉開時及び閉止後 5 分間 は判定しない	冷却運転を開始し、冷蔵庫内の温 度が設定温度以下で自動復帰
	3055-03	加熱ヒーター			○	ミルク加温ヒーター 低温	加温ヒーター温度がミルク 売切（加温 H）温度以 下になり、10 秒経過した	加温ヒーター温度が、「MK 売切 （加温 H）」温度より高い温度で 自動復帰
3056-01	ドリッパン	○			ドリッパン セットミス	ドリッパンのレバーが ロックされていない	ドリッパン前面のレバーを 「LOCK」（上側）まで回して ロックする	
3056-02	ミルクタンク			○	ミルクタンク セットミス	ミルクタンクがセットさ れていない	ミルクタンクを正常にセットする ことにより自動復帰	
9000-01	CRYSTA	○			製品本体停電	コーヒーマシン本体の電 源が断れた	停電回復で自動復帰	



# 7. 故障診断

## ●故障コード一覧

※ミルクユニット接続時に表示される項目についても記載しています。

コード	画面表示	対象ユニット		故障内容	発生原因	解除方法	
		コーヒー	ミルク				
故障項目	34	センタボタンリョウ	○		選択ボタン不良	選択ボタンが1分間押されたまま	選択ボタン点検・交換
	50	トクイデータリョウ	○		時計データ異常	・現在時刻が異常値	キーボードにて現在時刻再設定
	51	メモリアデータリョウ	○		メモリアデータ異常	・メモリアデータ異常	全データ再設定、標準値転送
	52	メカコードミセットイ	○		メカ指定コード未設定	・設定データ異常・未設定 ・機種指定コード未設定	・設定データを再書き込みする ・メインマイコン交換
	60	ツクシラインショート	○		通信ラインショート	・スレブ基板故障 ・コネクタ抜け	原因基板、ハーネスの点検・交換
	62	バンドスレブイリョウ	○		商品搬送部通信異常	・通信ライン断線 ・メインマイコンと接続端末間の通信異常	・コネクタの接続確認 ・通信線の点検・交換
	67	キスレブイリョウ	○		コントローラ通信異常	コントローラと通信ができない	・コントローラの再接続 ・コントローラ交換
	77-01	ユニットスレブイリョウ	○	○	ミルクユニット通信異常	・ミルクユニット電源[切] ・通信ライン断線 ・メインマイコンと接続端末間の通信異常	・ミルクユニットの電源投入 ・コネクタの接続確認 ・通信線の点検・交換
	77-02	ミルクゲングパルス		○	ミルクユニット電源パルス異常	・電源パルスライン断線	・コネクタの接続確認 ・電源パルス線の点検交換 ・電源の再投入
	90-01	レイキキコウイリョウ		○	冷却機構異常	・170分以上冷却運転しているにも関わらず、冷蔵庫温度が2K下がらないとき ・コネクタの抜け、不接 ・冷却機構故障	・コネクタの接続確認 ・冷却機構の点検交換 ・電源の再投入
	91	カオキコウイリョウ	○		加温機構異常	・湯タンクヒーターをONしているにも関わらず、湯タンク内の温度上昇が5分間で2℃未満のとき ・コネクタの抜け、不接 ・ヒーター故障	・コネクタの接続確認 ・ヒーターの点検・交換 ・電源の再投入
	100	ヒセンイリョウ	○		湯タンク上温度センサー異常	・温度が-20℃以下、または温度が121℃以上のとき ・コネクタの抜け、不接 ・湯タンク温度センサーの故障	・左記以外の温度になると解除 ・コネクタの接続確認 ・湯タンク温度センサーの点検・交換
500-01	キョウシュクキマツマリ		○	凝縮器目詰まり警告	圧縮機動作中、凝縮器サーミスタ温度が54℃を超えた状態が5分以上継続した	・凝縮器フィルタの清掃 ・清掃・点検後に電源再投入	

# 7. 故障診断

## ●故障コード一覧

※ミルクユニット接続時に表示される項目についても記載しています。

コード	画面表示	対象ユニット		故障内容	発生原因	解除方法	
		コヒー	ミルク				
故障項目	550-01	コンデンサコウカ		○	コンプレッサ温度異常	凝縮器出口温度が 58℃以上	・凝縮器フィルタの清掃 ・清掃・点検後に電源再投入
	575-02	エバセンサーイジヨウ		○	蒸発器温度センサー異常	蒸発器サーミスタの短絡、断線	・コネクタの接続確認 ・サーミスタの点検・交換
	575-03	カホセンサーイジヨウ		○	ミルク加温温度センサー異常	ミルク加温サーミスタの短絡、断線	・コネクタの接続確認 ・サーミスタの点検・交換
	575-04	キハツセンサーイジヨウ		○	機械室温度センサー異常	機械室サーミスタの短絡、断線	・コネクタの接続確認 ・サーミスタの点検・交換
	575-05	コンデンサセンサーイジヨウ		○	凝縮器温度センサー異常	凝縮器サーミスタの短絡、断線	・コネクタの接続確認 ・サーミスタの点検・交換
	575-06	ミルクタンクセンサーイジヨウ		○	ミルク庫内温度センサー異常	ミルク庫内サーミスタの短絡、断線	・コネクタの接続確認 ・サーミスタの点検・交換
	575-07	ホンプンセンサーイジヨウ		○	ミルクポンプ室温度センサー異常	凍結防止サーミスタの短絡、断線	・コネクタの接続確認 ・サーミスタの点検・交換
	1702	フロートスイッチイジヨウ		○	フロートスイッチ異常	・湯タンクの水フロートスイッチが、満水かつ低水位の状態を 1 秒間継続したとき ・スイッチ不接、断線	・左記以外の状態が 1 秒以上継続したとき解除 ・コネクタの接続確認 ・フロートスイッチの点検・交換
	1764	ヒータースイッチイジヨウ		○	ヒータースイッチ異常（過昇検知）	・湯タンクのヒータースイッチ異常ありの信号を 3 秒間継続したとき ・コネクタの抜け、不接 ・湯タンク、配管加熱のプロテクタ動作 ・蒸気温度が 80℃以上を 30 秒間継続したとき	・過昇スイッチの異常なしの信号を 3 秒間継続したとき解除 ・コネクタの接続確認 ・湯タンク温度センサー点検・交換 ・蒸気温度が 80℃未満を 30 秒間継続したとき ・コネクタの接続確認 ・蒸気温度センサー点検・交換
	1766	ブルワーモータイジヨウ		○	ブルワーモータ異常	・抽出動作開始後、2.5 秒経過しても待機位置センサーが変化しないとき ・待機位置⇄下位置の移動において、動作開始後 10 秒経過しても目的位置のセンサーが変化しないとき	・機構点検後に電源再投入
	1775-01	レイキヤイジヨウ		○	冷却異常	庫内温度がミルク売切れ設定温度以上になり 30 分以上経過した ただし、ミルクユニット扉開時及び閉止後 5 分間は判定しない。	・ミルク扉パッキンの点検・交換 ・蒸発器ファンの点検・交換 ・冷却機構コネクタ接続確認 ・ミルク庫内サーミスタの点検・交換 ・凝縮器フィルターの点検・清掃
	1793-02	エンソハツキイキリシヨウ		○	塩素発生器異常（過電流）	過電流を検知	・コネクタの接続確認 ・電源の再投入
	1793-03	エンソハツキイキリシヨウ		○	塩素発生器異常（微小電流）	微小電流を検知	・コネクタの接続確認 ・塩素発生電極の点検・交換 ・水質・電気伝導度 20 μS/cm 以下の場合は、内部キーボード【機能】「14）塩素発生器設定」の「ON 時間」を「255」に設定

# 7. 故障診断

## ●故障コード一覧

※ミルクユニット接続時に表示される項目についても記載しています。

コード	画面表示	対象ユニット		故障内容	発生原因	解除方法
		コーヒー	ミルク			
故障項目	1799-01	ミズフローセンサー異常	○	水フローセンサー異常	水フローセンサーが異常パルスを検知	<ul style="list-style-type: none"> <li>給水断水の確認</li> <li>電源の再投入</li> <li>水搬出動作を行い正常終了したら復帰</li> </ul>
	1799-02	ミルクフローセンサー異常	○	ミルクフローセンサー異常	ミルクフローセンサーが異常パルスを検知	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミルクタンク内のミルクホース、ストレーナーの接続確認</li> <li>電源の再投入</li> <li>ミルク搬出動作を行い正常終了したら復帰</li> </ul>
	2902	アドオン識別異常	○	アドオン識別異常	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドオン基板不接続</li> <li>アドオン基板認識不可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドオン基盘点検・交換</li> </ul>
	3068	湯温センサー異常 2	○	湯温センサー異常 2 (湯タンク蒸気排出部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気排出部温度が-20℃以下、または 121℃以上である</li> <li>コネクタの抜け、不接</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記以外の温度になると解除</li> <li>コネクタの点検</li> </ul>
	3073	ミルクロック異常	○	ミルク OL 動作	ミルクモータ保護用オーバーロードプロテクタが動作した	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーヒーミルク出口を清掃し、コーヒーミルク復帰ボタンを押す</li> <li>清掃方法は、「6. 定期的清掃・お手入れ」 「コーヒーミルク吐出口」を参照</li> </ul>
	3075-01	コーヒータイムオーバー異常	○	シーケンスタイムオーバー異常	メインマイコンからコーヒースレーブに調理タイミングが伝わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>メインマイコン→コーヒースレーブ基板間の接続確認</li> <li>機構点検後に電源再投入</li> <li>コーヒースレーブ基板交換</li> </ul>
	3075-02	コーヒータイムオーバー異常 (ミルクスレーブ)	○	シーケンスタイムオーバー異常 (ミルクスレーブ)	コーヒーマシンからミルクユニットに調理タイミングが伝わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>機構点検後に電源再投入</li> <li>ミルクスレーブ基板交換</li> <li>ノズル駆動ユニットの接続確認</li> </ul>
	3075-03	調理同期信号データ異常	○	調理同期信号データ異常	コーヒーマシンの調理タイミングが異常	<ul style="list-style-type: none"> <li>機構点検後に電源再投入</li> <li>コーヒースレーブ基板交換</li> </ul>
	3075-04	調理同期信号データ異常 (ミルクスレーブ)	○	調理同期信号データ異常 (ミルクスレーブ)	ミルクユニットの調理タイミングが異常	<ul style="list-style-type: none"> <li>機構点検後に電源再投入</li> <li>ミルクスレーブ基板交換</li> </ul>
	3075-05	薬剤ミルク経路リンス中の異常	○	薬剤ミルク経路リンス中の異常	薬剤ミルク経路リンス中に「ミルクタンクなし」を検知	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミルクタンクをセットして薬剤ミルク経路リンスを実施</li> <li>電源の再投入</li> </ul>
	3082	湯温センサー異常 3 (湯タンク下部)	○	湯温センサー異常 3 (湯タンク下部)	湯タンク温度が-20℃以下、または 121℃以上である	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記以外の温度になると解除</li> <li>湯タンク下温度センサー点検・交換</li> </ul>
	3084	庫内温度センサー異常	○	庫内温度センサー異常	<ul style="list-style-type: none"> <li>庫内温度が-20℃以下、または 112℃以上である</li> <li>庫内温度サーミスタショート、オープン異常</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記以外の温度になると解除</li> <li>庫内温度サーミスタ点検・交換</li> </ul>
	3086	ブルワー位置センサー異常	○	ブルワー位置センサー異常	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブルワー動作開始時にドリップパンが待機位置にないとき</li> <li>ブルワー動作中に待機位置センサーと下位置検知センサーを同時に検知したとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機構点検後に電源再投入</li> </ul>
3088	ブルワー圧力センサー異常	○	ブルワー圧力センサー異常	<ul style="list-style-type: none"> <li>待機中に圧力値が異常値を示した</li> <li>コネクタの抜け、不接</li> <li>圧力センサーの故障</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>圧力センサー点検・交換</li> <li>コネクタの接続確認</li> </ul>	

# 7. 故障診断

## ●故障コード一覧

※ミルクユニット接続時に表示される項目についても記載しています。

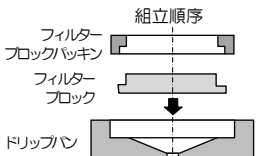
コード	画面表示	対象ユニット		故障内容	発生原因	解除方法	
		コヒ	ミルク				
故障項目	3089	ハンジュアツリヨクイジ ョ	○		ブルワー圧力センサー搬出異常	抽出動作時において吸引動作開始後 30 秒経過する間に圧力変化がない	本コードが発生するとブルワーが動作途中で停止しているの で、次の手順で解除する。 ①電源を再投入し、モニター画面が出たら【動作】キーを押すとブルワーが初期化動作し、待機位置に戻る。 ②ブルワーチャンバー及びドリップパンを外し、よく清掃してから取り付ける。 ③【終了】キーを押す。
	3092-01	ノズル待機	○		ミルクノズル駆動モータ待機位置不良	動作開始後一定時間経過しても待機位置が検知できない	・コネクタの接続確認 ・待機位置、抽出位置 SW 交換 ・電源の再投入
	3092-02	ノズル抽出	○		ミルクノズル駆動モータ抽出位置不良	動作開始後一定時間経過しても抽出位置が検知できない	・コネクタの接続確認 ・待機位置、抽出位置 SW 交換 ・電源の再投入
	3092-03	ノズル SW ロリ	○		ミルクノズル駆動モータスイッチ論理不良	ノズル位置スイッチが待機位置、抽出位置ともに ON 状態	・コネクタの接続確認 ・待機位置、抽出位置 SW 交換 ・電源の再投入
	3093-01	ミルクポンプイジ ョ	○		ミルクポンプ動作異常	・ミルクポンプが異常パルスを検知 ・コネクタの抜け、不接	・コネクタの接続確認 ・ミルクポンプの点検・交換 ・電源の再投入
	3094-01	エバファンイジ ョ	○		蒸発器ファンモータ動作異常	・蒸発器ファンの回転パルスが検出されない ・コネクタの抜け、不接	・コネクタの接続確認 ・ファンモーターの点検・交換 ・電源の再投入
	3094-02	コンデンサファンイジ ョ	○		凝縮器ファンモータ動作異常	・凝縮器ファンの回転パルスが検出されない ・コネクタの抜け、不接	・コネクタの接続確認 ・ファンモーターの点検・交換 ・電源の再投入
	3094-03	機械室換気ファンイジ ョ	○		機械室換気ファンロック	・機械内換気ファンの回転パルスが検出されない ・コネクタの抜け、不接	・コネクタの接続確認 ・ファンモーターの点検・交換 ・電源の再投入
	3094-04	SVC レイヤファンイジ ョ	○		ミルクスレープ基板用冷却ファンロック	・スレープ基板用の冷却ファンの回転パルスが検出されない ・コネクタの抜け、不接	・コネクタの接続確認 ・ファンモーターの点検・交換 ・電源の再投入
	3094-05	ミルクポンプ冷却ファンイジ ョ	○		ミルクポンプ冷却ファンロック	・ミルクポンプ用冷却ファンの回転パルスが検出されない ・コネクタの抜け、不接	・コネクタの接続確認 ・ファンモーターの点検・交換 ・電源の再投入
	3095-01	加熱ヒーターイジ ョ	○		ミルク加熱ヒーター異常	・ミルク加熱ヒーターの温度上昇が遅い	・コネクタの接続確認 ・ミルク加熱ヒーターブロックの点検・交換 ・加熱サーミスタの点検・交換 ・電源の再投入
	3095-02	ミルク加熱ヒーター過昇防止イジ ョ	○		ミルク加熱ヒーター過昇防止動作	・ミルク加熱ヒーターの過昇防止 SW が動作した ・ヒータ断線	・コネクタの接続確認 ・過昇防止 SW の点検・交換 ・加熱サーミスタの点検・交換 ・ミルク加熱ヒーターの点検・交換
	3096-02	SVC2 メモリイジ ョ	○		ミルクユニット用データフラッシュメモリ異常	ミルクスレープ基板のデータフラッシュメモリ異常	・ミルクスレープ基板交換

MEMO

# 7. 故障診断

## 7. 3 よくあるトラブルQ&A

こんな時は故障コールする前に、必ずご確認ください。

Q. コーヒーが“うすい”		確認と対応
A1	コーヒーミルの出口またはチャンバーダクト裏側にコーヒー粉が詰まっていますか？	コーヒーミル出口及びチャンバーダクトおよびダクトボックスを清掃してください。
A2	チャンバーダクト/豆シュートを洗浄後、乾かして使用していますか？	チャンバーダクト/豆シュートは洗浄後、水分を十分に拭き取り、乾燥させてから使用してください。
Q. コーヒーの量が少ない		確認と対応
A1	ドリッパーパンのフィルターブロックパッキンから液漏れしていませんか？	フィルターブロックパッキンを裏返しに取り付けたり、はめ込みが不完全だと液漏れします。フィルターブロックパッキンは正しく取り付けてください。 
A2	選択ボタンを押し間違えていませんか？	カップのサイズと選択したメニューが合っているか確認してください。
A3	ペーパーフィルターがよじれていませんか？	ペーパーフィルターを送り、「よじれ」「しわ」を直してください。
Q. ペーパーがあるのにペーパー切れ表示が出る ペーパーが無いのに売切れにならない		確認と対応
A1	ペーパーカバーが取り付けられていますか？ ペーパーカバーの固定ツメが外れていませんか？	ペーパーカバーは軸部のツメが出る位置まで押し込んで取り付けてください。
Q. 排水トレイの排水を捨てたのに、“排水トレイ満水”表示が消えない		確認と対応
A1	排水量を検知するセンサーは、非接触タイプのもので、排水トレイ検知部が濡れていると、誤動作することがあります。	排水トレイの検知部（丸印部）の内外面の水滴を、ペーパータオル等でふき取ってください。 
A2	排水ストレーナーが汚れていませんか？	排水ストレーナーを外して、清掃してください。
A3	排水配管（ナイロンチューブ）の折れや詰まりがありませんか？	排水配管の折れや詰まりを取り除いてください。
Q. 「カス満杯」ランプが消えない		確認と対応
A1	【カス満杯】キーを押した後、【動作】キーを押しましたか？	【カス満杯】キーを押した後、【動作】キーを押さないとカス満杯リセットが完了しません。
Q. 選択ボタンが押せない（選択ボタンランプが点灯しない）		確認と対応
A1	該当の選択ボタンが“提供休止”に設定されています。機械の故障ではありません。	選択ボタンの“提供休止”設定を解除してください。飲料休止の設定内容を変更する時は「5. 3 項目別機能一覧表 飲料休止」の項目をご覧ください。
Q. ノブを回してもペーパーフィルターが送れない		確認と対応
A1	ドリッパーパンが奥まで差し込まれていますか？ ロックレバーがLOCK側になっていますか？	ドリッパーパンを奥まで押し込んだ後、ロックレバーを「LOCK」側に回してお使いください。
A2	ペーパーフィルターがペーパー送りローラとペーパー押さえローラの間に挟み込んでありますか？	ペーパーフィルタをペーパー送りローラとペーパー押さえローラの間に挟み込んでください。

## 7. 故障診断

Q. コントローラーの点検ランプが〔点滅〕または〔点灯〕し、販売できない		確認と対応
A1	点検ランプの〔点滅〕は売切れ項目が発生中です。故障ではありません。	「7. 2 キーボードによる故障診断」の「(1) 現在の売切れ項目を確認する」(P28)を参照して売切れコード No.を確認し、「売切れコード一覧」の解除方法により販売復帰させてください。
A2	点検ランプの〔点灯〕は故障項目が発生中です。故障コード“3089”は故障ではない場合があります。	「7. 2 キーボードによる故障診断」の「(2) 現在の故障項目を確認する」(P29)を参照して故障コード No.を確認し、コールセンターへお問い合わせください。
Q. 売切れコード“988”を表示し、販売できない		確認と対応
A1	水源から水が給水されないため、湯タンクの水位が低下して正常な販売ができない状態です。	水道の元栓が閉まっていたら開けてください。水源の断水でしたら復旧までお待ちください。カセットタンク仕様の場合は、タンクに水を補給し、電源を再投入してください。
Q. 故障コード“3089”を表示し、販売できない		確認と対応
A1	ドリップパンが奥まで差し込まれていますか？ ロックレバーがLOCK側になっていますか？	ドリップパンを奥まで押し込んだ後、ロックレバーを「LOCK」側に回してお使いください。

## 8. 仕様

項目	仕様	備考
品名	レギュラーコーヒーマシン	
製品型式名	RCM2-PF2HWDN-SD	
外形寸法 (mm)	幅300×奥行555 (最大奥行612) ×高さ850	
製品質量 (kg)	42.5 (空質量)	
定格電源 消費電力 電熱装置消費電力	単相交流100V±10V 50/60Hz 15A 35/35W 1000W	コード機外長2.5m
選択ボタン数	10個	
適用カップサイズ	口径φ65~85mm 高さ80~135mm	7oz~16ozカップ相当
原料容器	コーヒー豆用ホッパー：2.4L×2	
湯タンク タンク容量 ヒーター 安全装置 給湯電磁弁	3.5リットル 1000W (700W+300W) 手動復帰式温度過昇防止器、沸騰防止装置 2ケ (ブルワー給湯用×1、湯回路用×1)	
抽出装置 ブルワー型式 ろ過方式 コーヒーミル	SCB-P2B ペーパーフィルター式 カッピング式 (手動復帰式プロテクタ付)	専用ペーパーフィルター： RCM-PEPA90
取出口	シャッター付き	閉検知・ロック機構付き
カップ検知センサー	紙カップ・透明樹脂カップ有無検知	
排水トレイ	0.7リットル	排水満水検知機能付き
カス容器	3.6リットル (豆10g搬出にて約50杯分)	
換気ファン	プロペラファン 1個	
安全装置	電源ヒューズ (15A) 漏電遮断器 (定格感度電流15mA) 空だき防止装置 沸騰防止サーミスタ 排水満水検知機能	
給水方式 給水接続仕様 水フィルター	水道直結方式 接続口径 PJ1/2 オスねじ 外付け (付属なし)	

本仕様は改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。